



增補
圖書

新蒙圖彙

卷之四
四

八
三
九
至

13
1782
4



頭書増補割蒙圖彙卷之八

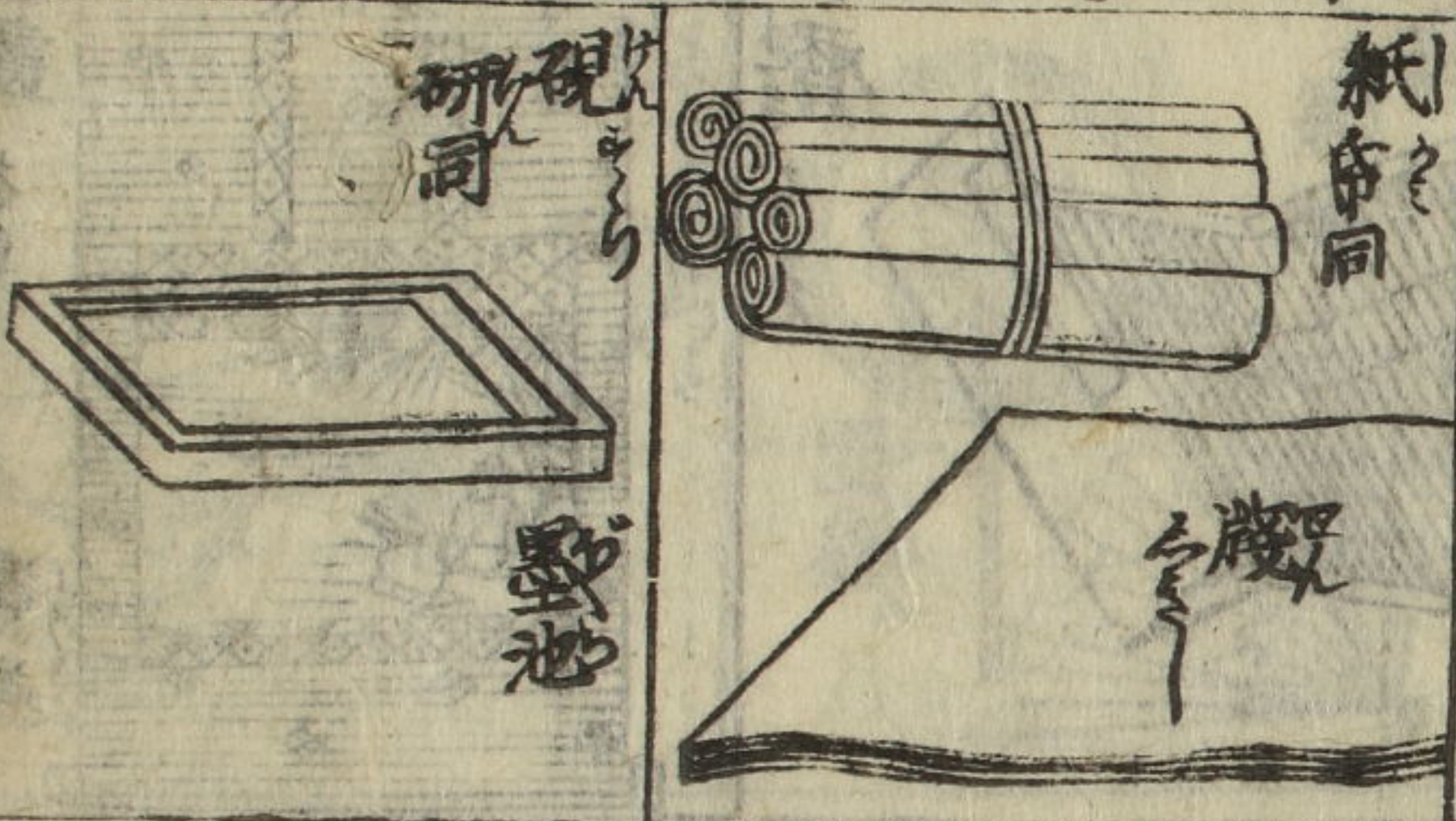


器用

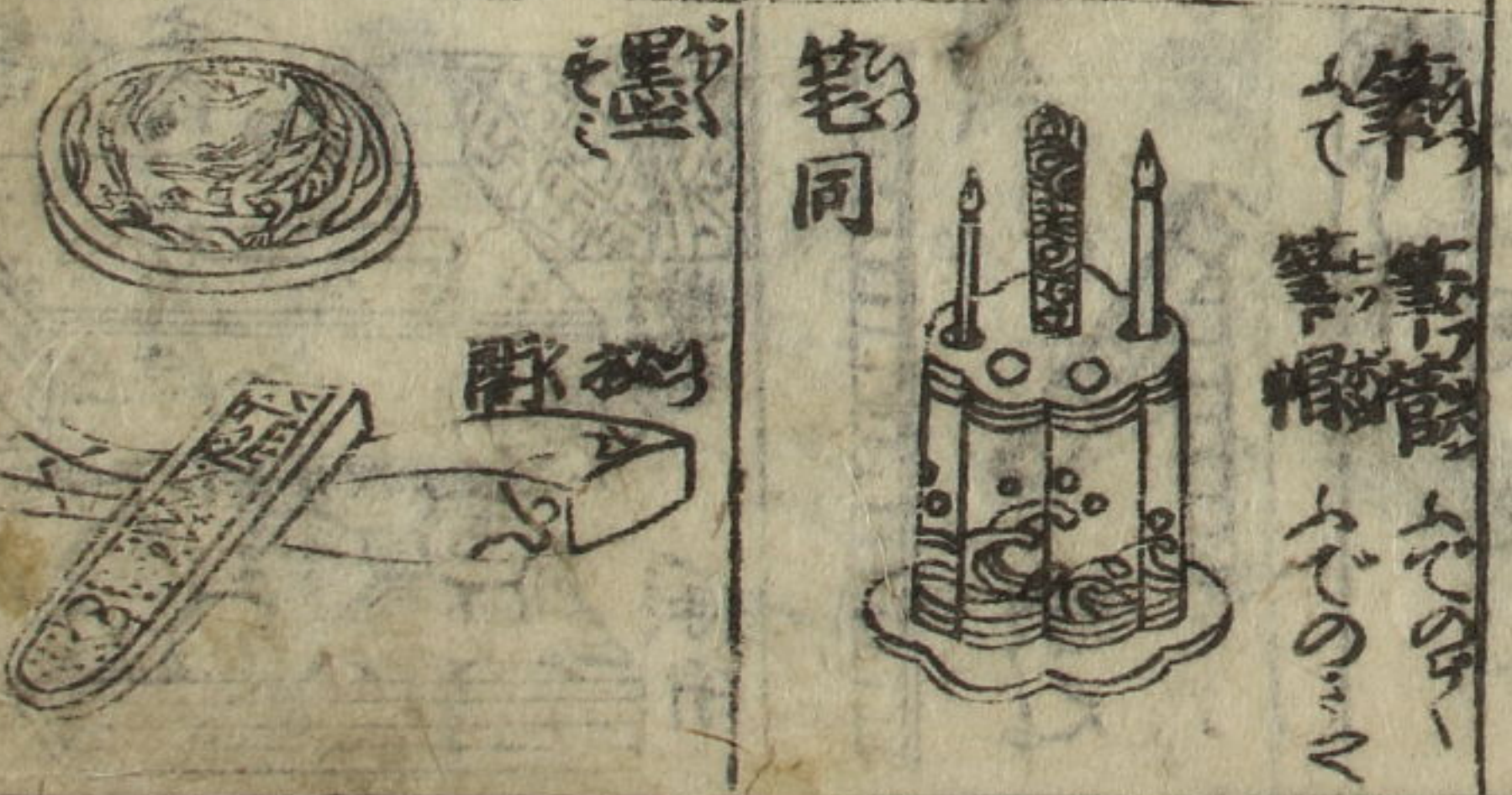
此部ハ文具農具之類
用之のうらゐとを記す



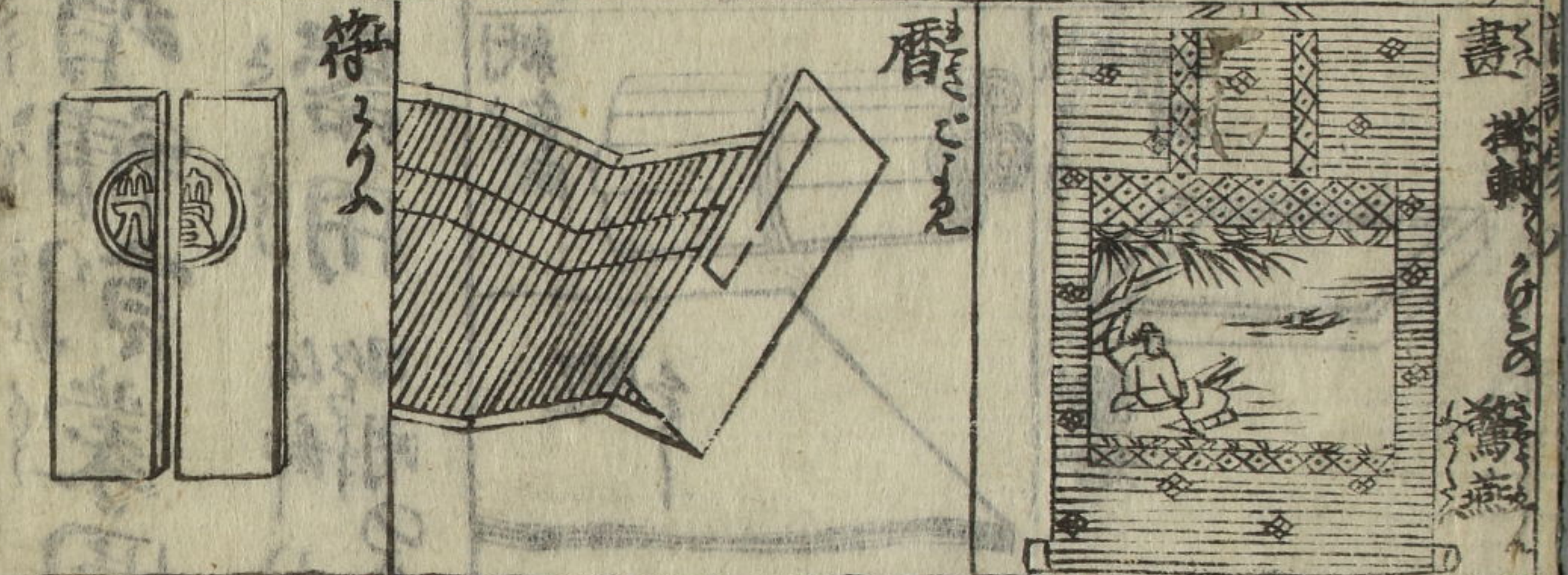
紙の楮の様に
つる後漢の糸
紙の楮の様に
つる後漢の糸
紙の楮の様に
つる後漢の糸



筆の製法
概しては
の功を以て
とす



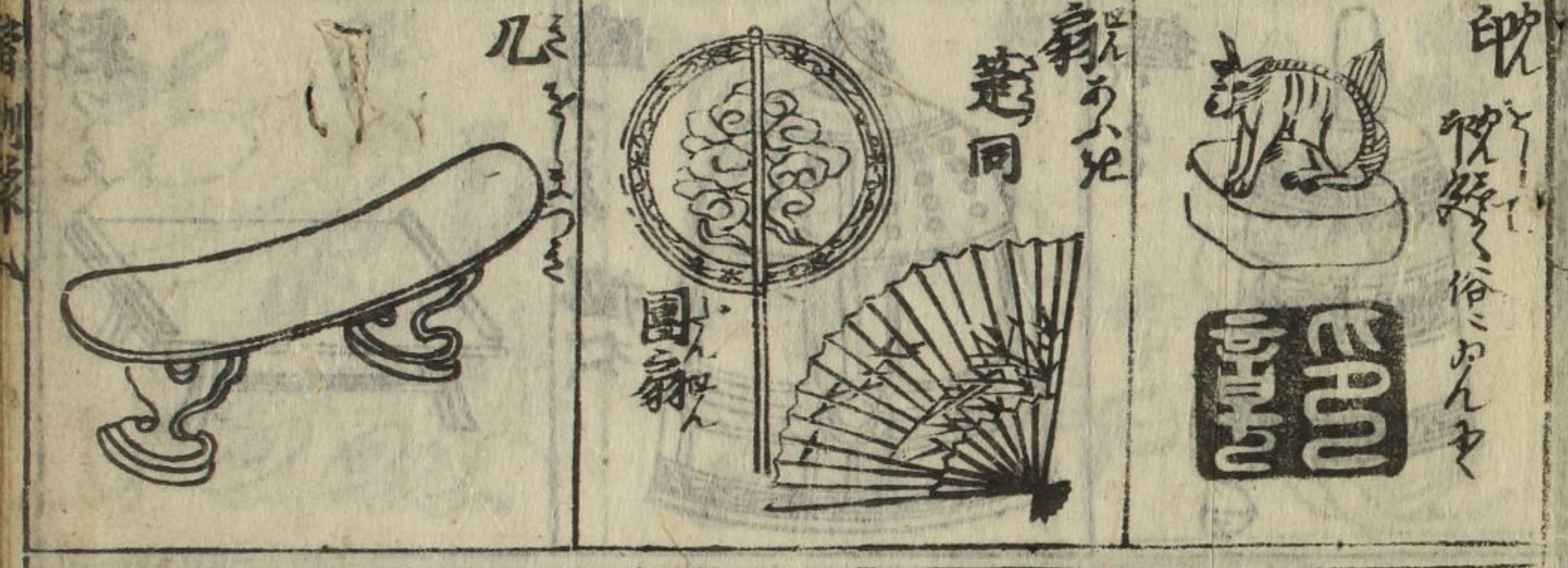
○書ハ紙ヲ用ル
 ○書ハ墨ヲ用ル
 ○書ハ筆ヲ用ル
 ○書ハ刀ヲ用ル
 ○書ハ硯ヲ用ル
 ○書ハ燭ヲ用ル
 ○書ハ香ヲ用ル
 ○書ハ茶ヲ用ル
 ○書ハ酒ヲ用ル
 ○書ハ食ヲ用ル
 ○書ハ衣ヲ用ル
 ○書ハ住ヲ用ル
 ○書ハ行ヲ用ル
 ○書ハ交ヲ用ル
 ○書ハ遊ヲ用ル



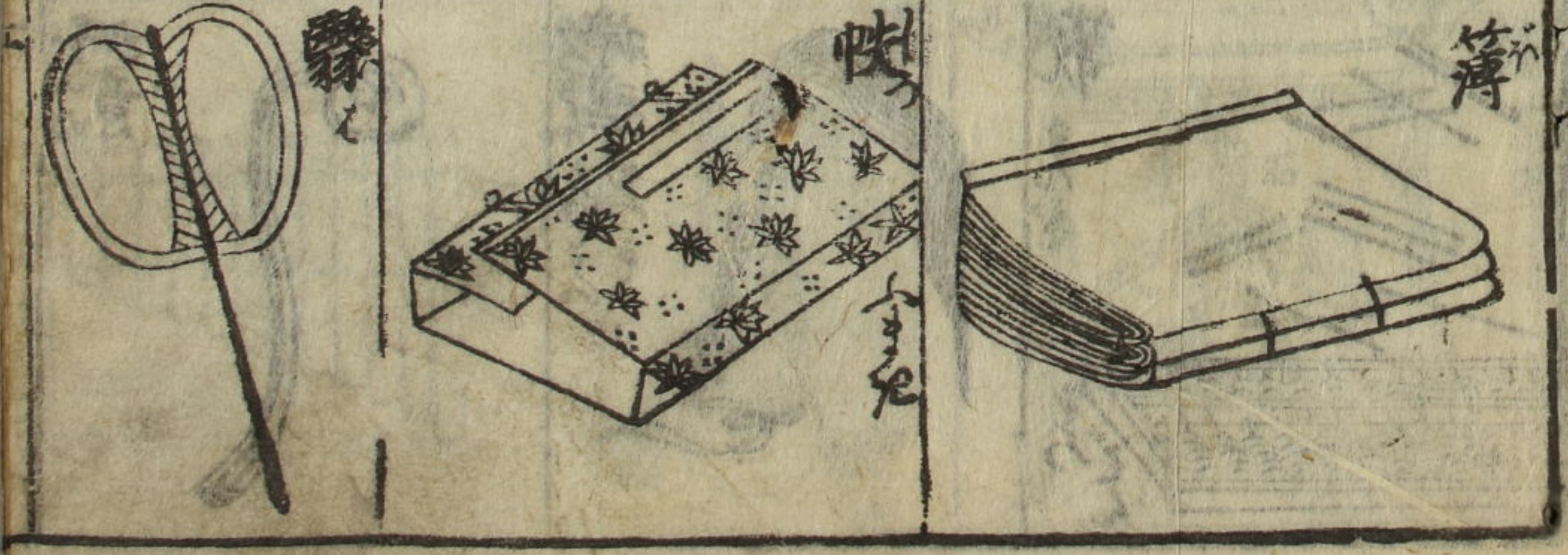
○書ハ紙ノ質ニ依リテ
 ○書ハ紙ノ色ニ依リテ
 ○書ハ紙ノ厚薄ニ依リテ
 ○書ハ紙ノ長短ニ依リテ
 ○書ハ紙ノ形制ニ依リテ
 ○書ハ紙ノ文様ニ依リテ
 ○書ハ紙ノ用途ニ依リテ
 ○書ハ紙ノ時代ニ依リテ
 ○書ハ紙ノ地域ニ依リテ
 ○書ハ紙ノ職人ニ依リテ
 ○書ハ紙ノ材料ニ依リテ
 ○書ハ紙ノ製法ニ依リテ
 ○書ハ紙ノ保存ニ依リテ
 ○書ハ紙ノ流通ニ依リテ
 ○書ハ紙ノ歴史ニ依リテ



○書ハ紙ノ外ニシテ
 ○書ハ紙ノ内ニシテ
 ○書ハ紙ノ上ニシテ
 ○書ハ紙ノ下ニシテ
 ○書ハ紙ノ左ニシテ
 ○書ハ紙ノ右ニシテ
 ○書ハ紙ノ前ニシテ
 ○書ハ紙ノ後ニシテ
 ○書ハ紙ノ内前ニシテ
 ○書ハ紙ノ内後ニシテ
 ○書ハ紙ノ内左ニシテ
 ○書ハ紙ノ内右ニシテ
 ○書ハ紙ノ内前左ニシテ
 ○書ハ紙ノ内前右ニシテ



○書ハ紙ノ外ニシテ
 ○書ハ紙ノ内ニシテ
 ○書ハ紙ノ上ニシテ
 ○書ハ紙ノ下ニシテ
 ○書ハ紙ノ左ニシテ
 ○書ハ紙ノ右ニシテ
 ○書ハ紙ノ前ニシテ
 ○書ハ紙ノ後ニシテ
 ○書ハ紙ノ内前ニシテ
 ○書ハ紙ノ内後ニシテ
 ○書ハ紙ノ内左ニシテ
 ○書ハ紙ノ内右ニシテ
 ○書ハ紙ノ内前左ニシテ
 ○書ハ紙ノ内前右ニシテ

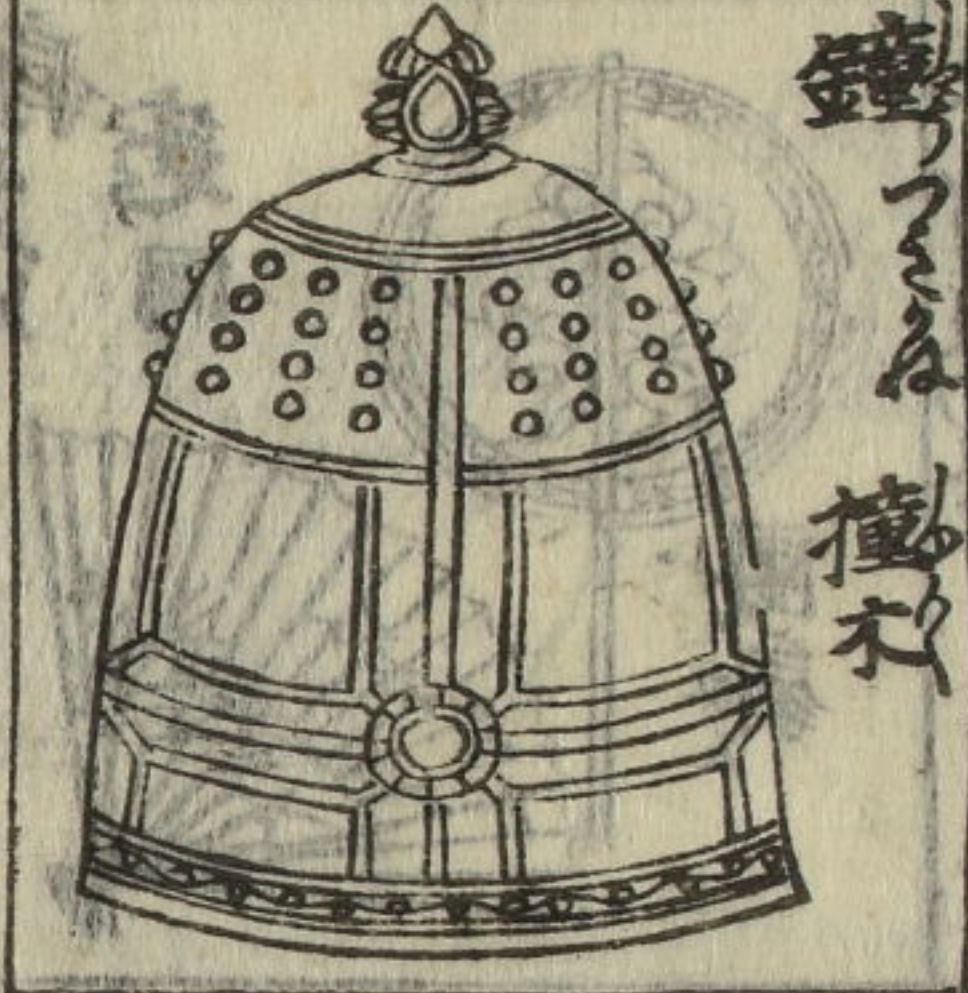


○案つてえ
○案の字の足
ありあつて又
軒とていふ九
とていふ

鐘つていふ

○鐘ハ十二調子
のうら黄鐘の調
みそりといふ
て鐘といふ

○鐸ハ金鐸ハ金
鈴ハ金鈴ハ金
木鐸ハ金鈴木舌
ありて教する

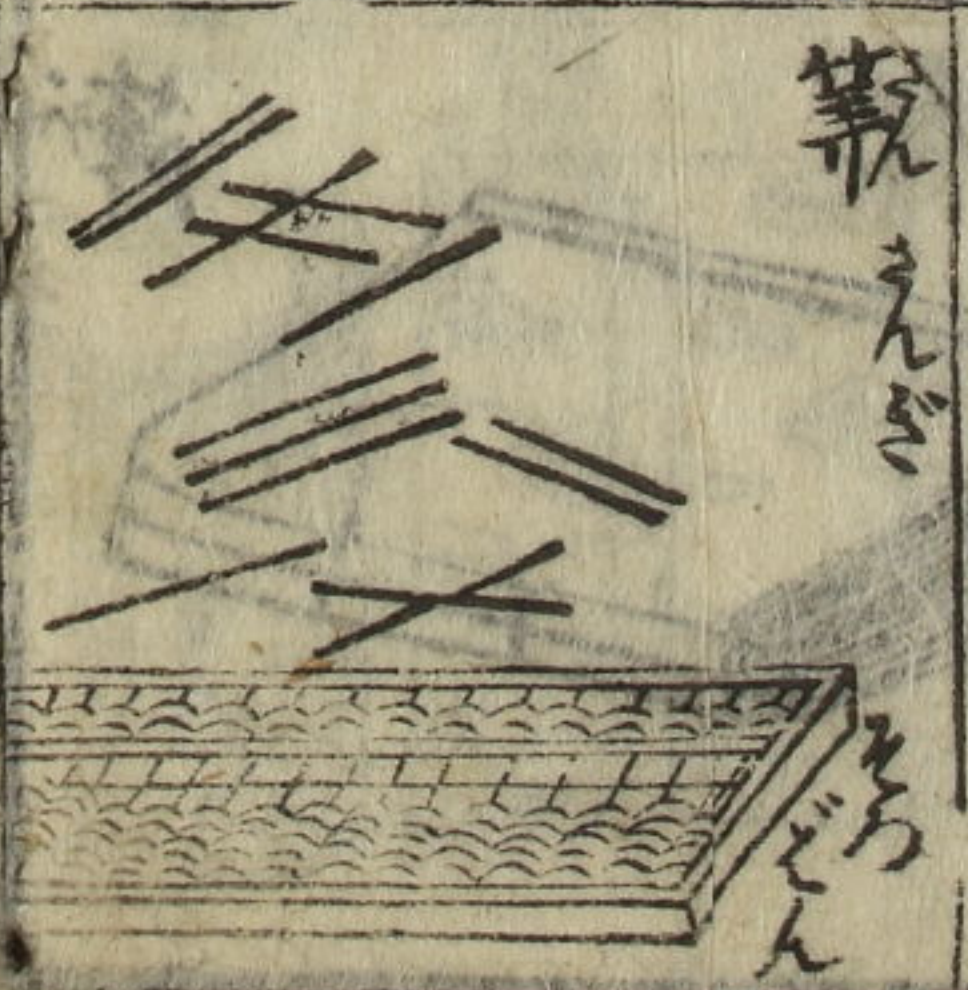


案つてえ

鐘つていふ
樹木

鐸つていふ

○如意ハ木竹又
象牙玳瑁等
つくふ物
まうた
つけ
妙珠の持
拂塵
○筆ハ長六寸
層敷
○黄帝の
親首算数
くま算
七算



如意

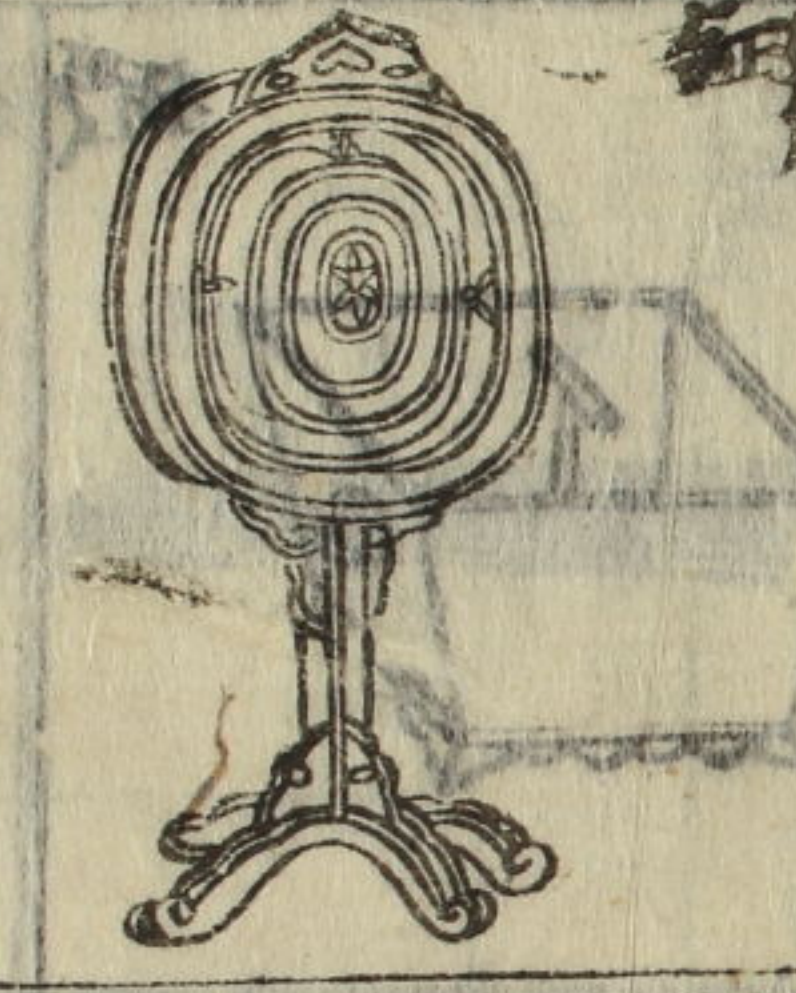
拂塵

算盤

○鐘ハ心
素器
鼓
鼓

○鐘ハ心
素器
鼓
鼓

○鐘ハ心
素器
鼓
鼓



鐘

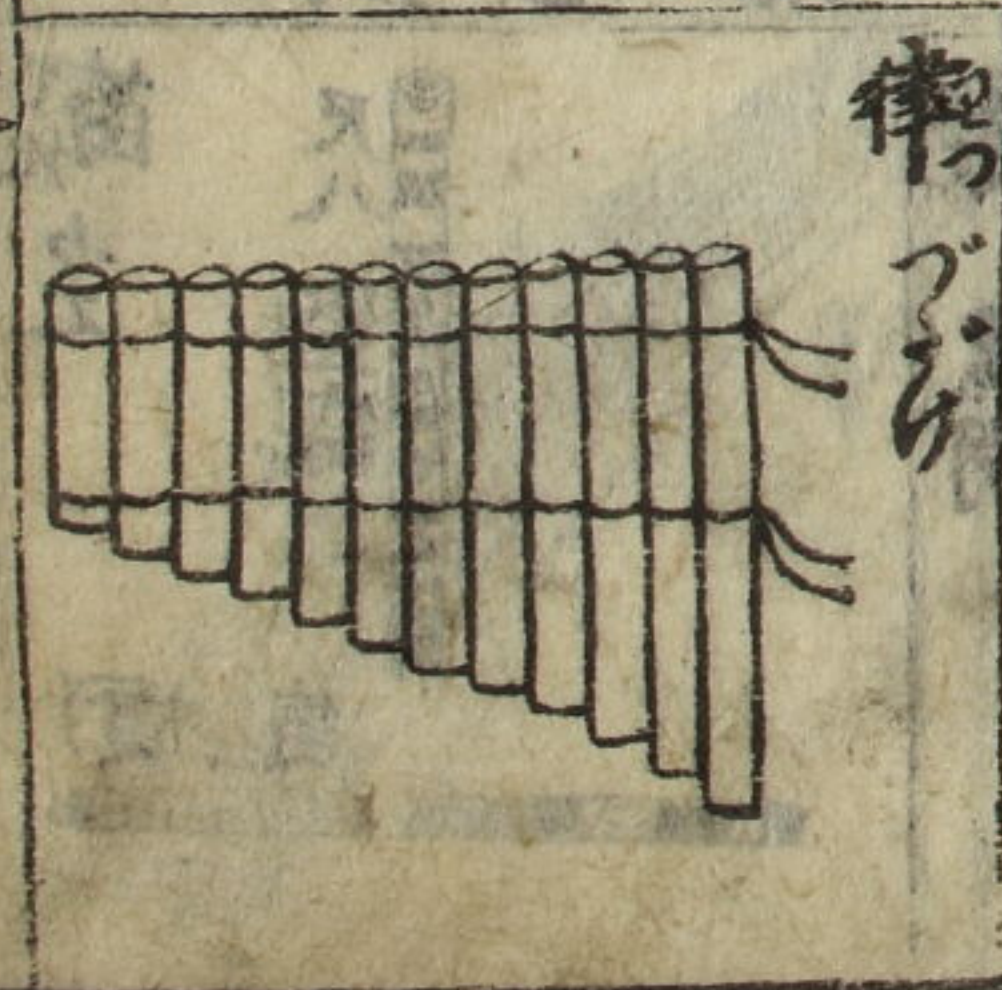
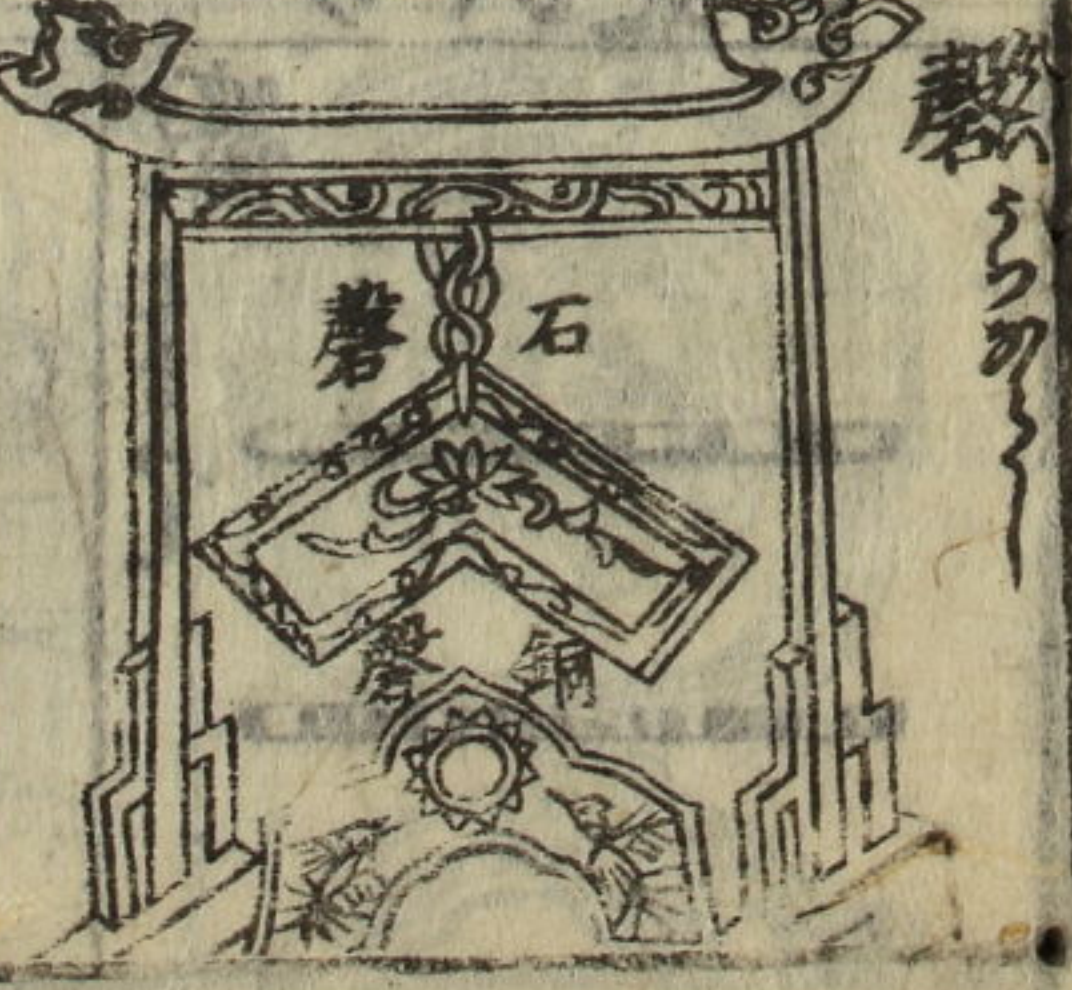
鐘子

子拍土

○磬ハ丹阿氏の
つり
石
磬

○磬ハ女
つり
磬

○律ハ樂器
陽律
合
六律
六律



磬

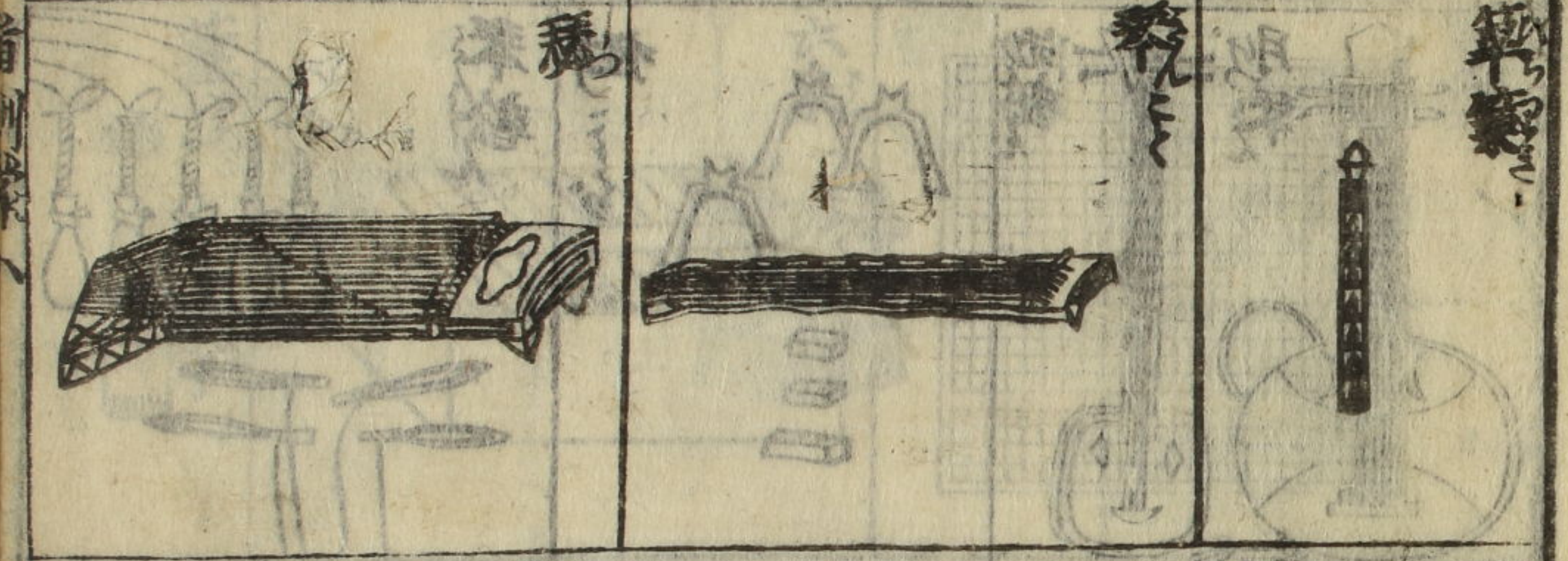
律

琴

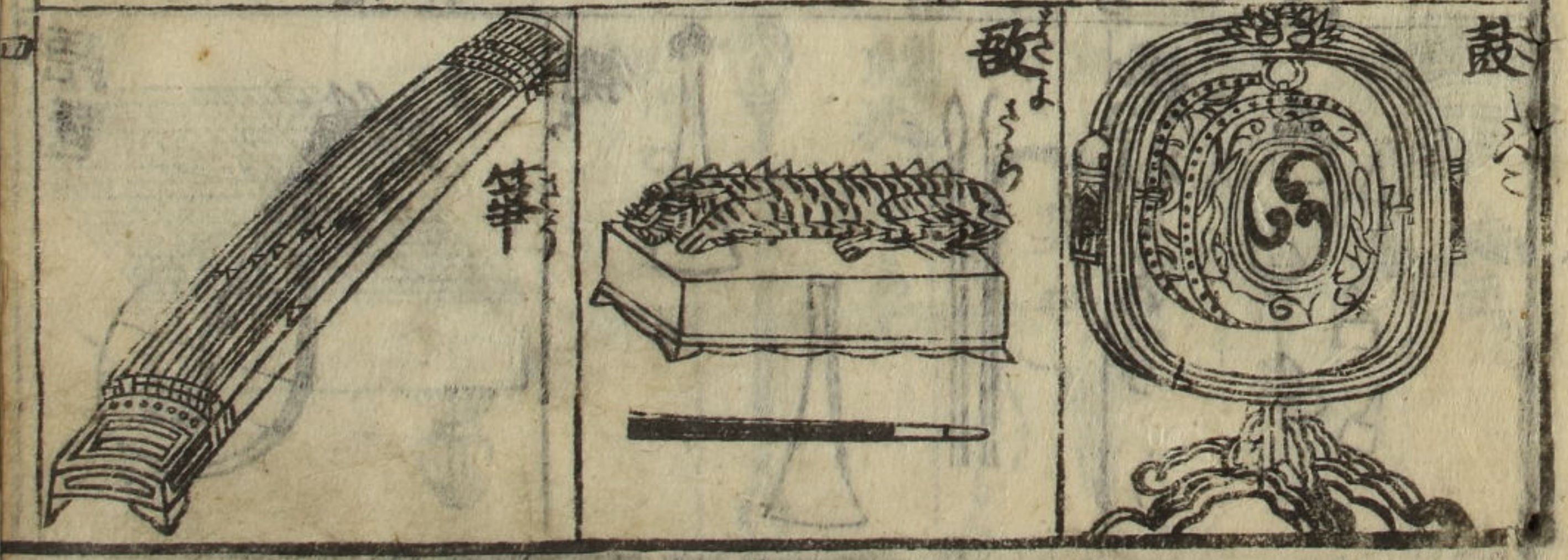
三味線

琉球

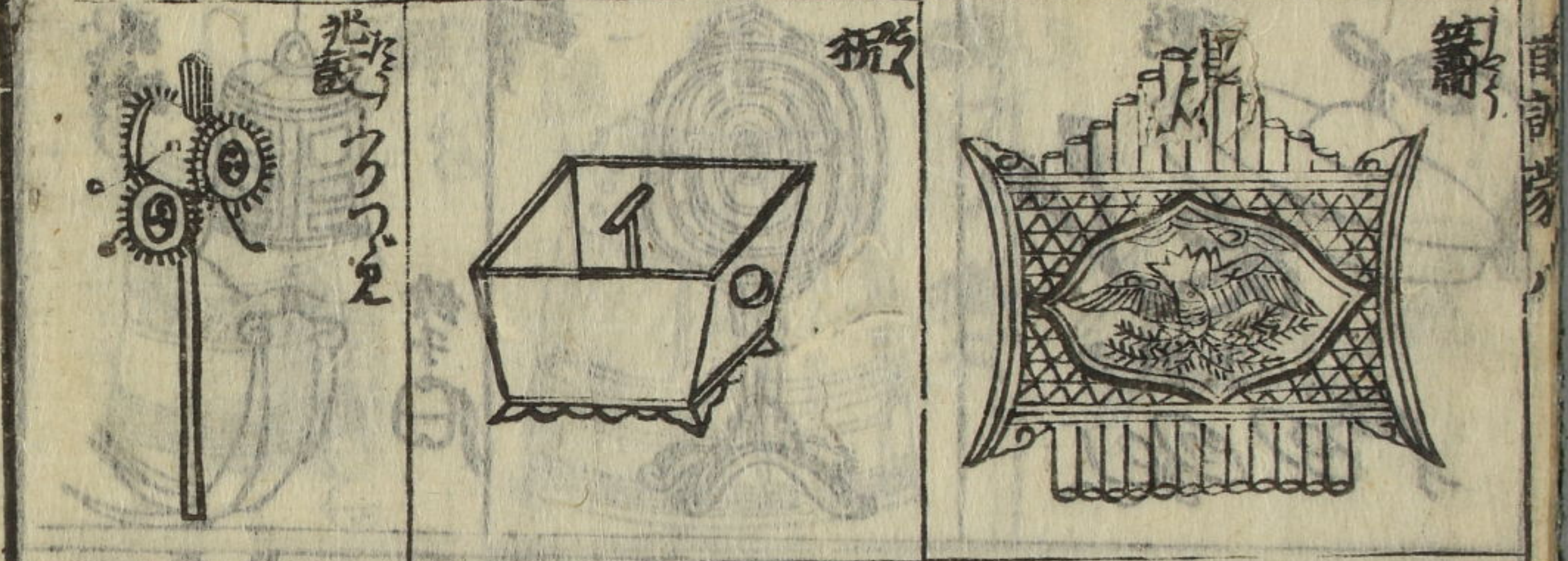
○箏の楽器あり
 竹管をのこす
 けらる風風の翼
 小のこらふ大のこらふ
 二十三管をこらふ
 四寸小のこらふ十六
 管をこらふ二寸
 ○箏の木管あり
 中に柄ありを
 うとしてをを
 うとしてをを
 かしてのあり



○箏の楽器あり
 竹管をのこす
 けらる風風の翼
 小のこらふ大のこらふ
 二十三管をこらふ
 四寸小のこらふ十六
 管をこらふ二寸
 ○箏の木管あり
 中に柄ありを
 うとしてをを
 うとしてをを
 かしてのあり



○箏の楽器あり
 竹管をのこす
 けらる風風の翼
 小のこらふ大のこらふ
 二十三管をこらふ
 四寸小のこらふ十六
 管をこらふ二寸
 ○箏の木管あり
 中に柄ありを
 うとしてをを
 うとしてをを
 かしてのあり



○箏の楽器あり
 竹管をのこす
 けらる風風の翼
 小のこらふ大のこらふ
 二十三管をこらふ
 四寸小のこらふ十六
 管をこらふ二寸
 ○箏の木管あり
 中に柄ありを
 うとしてをを
 うとしてをを
 かしてのあり



水筒

水筒の瓶の
このつきのあり玉
の瓶はくもりの
瓶はくもりの
又現清ともいふ



水筒

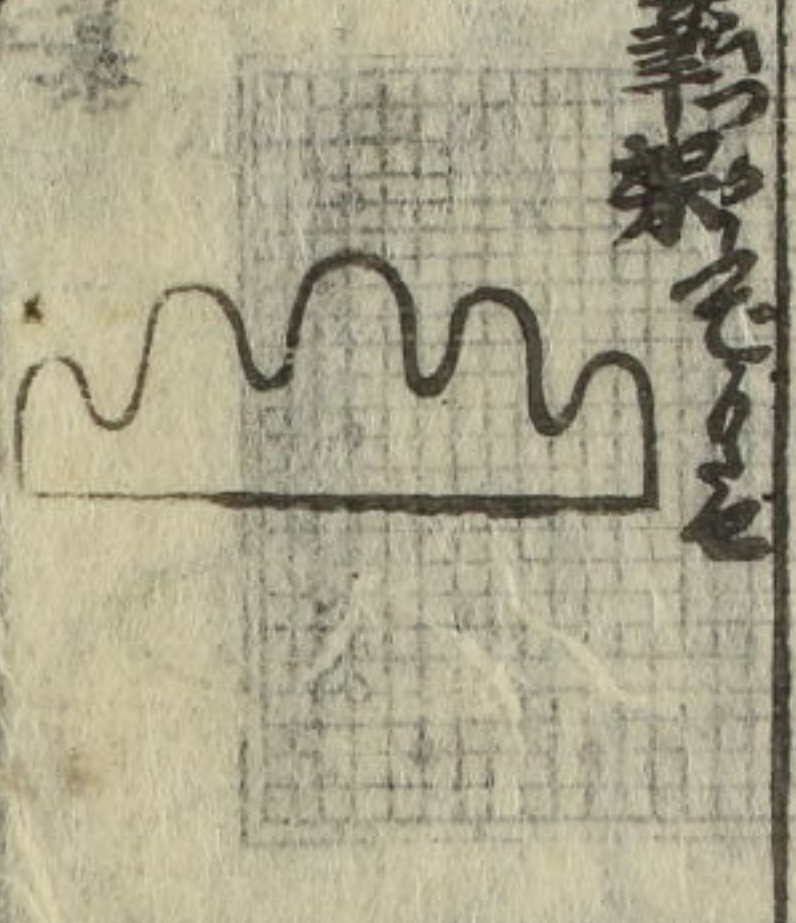
書鎮

書鎮の瓶
この書のあへん
は鎮しし磨書
ともいふ



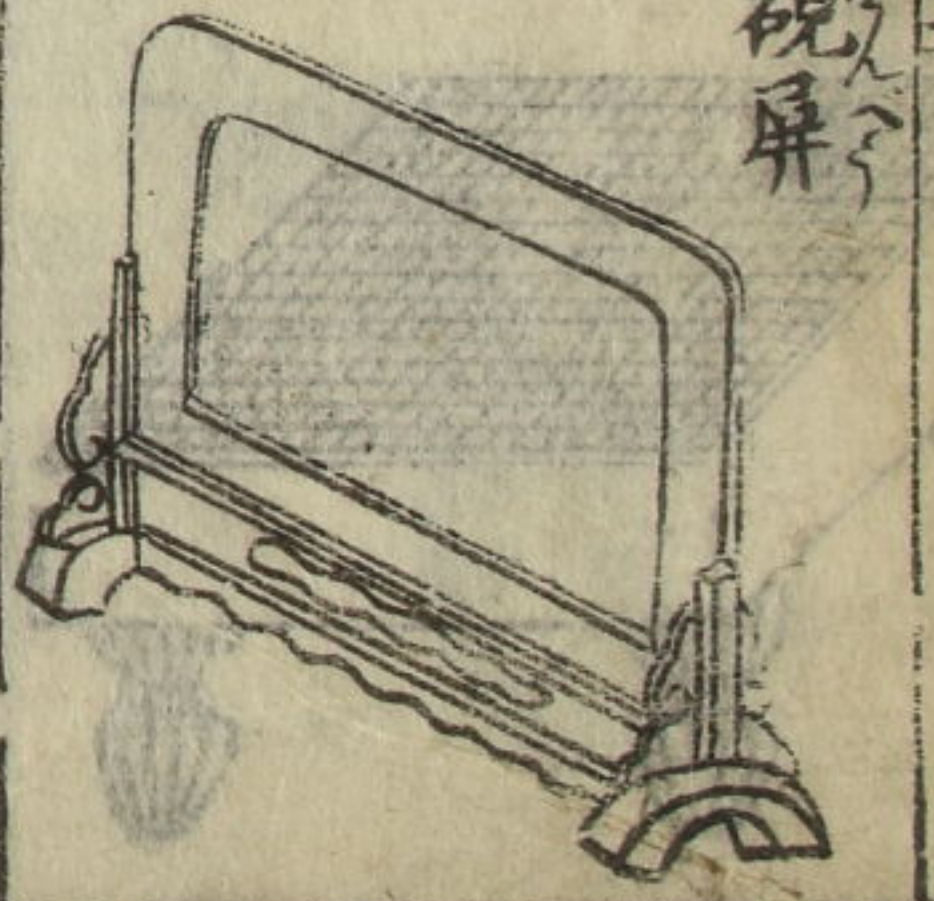
筆架

筆架の筆
の筆架ハ筆
の筆架ハ筆格
筆架筆架ともいふ



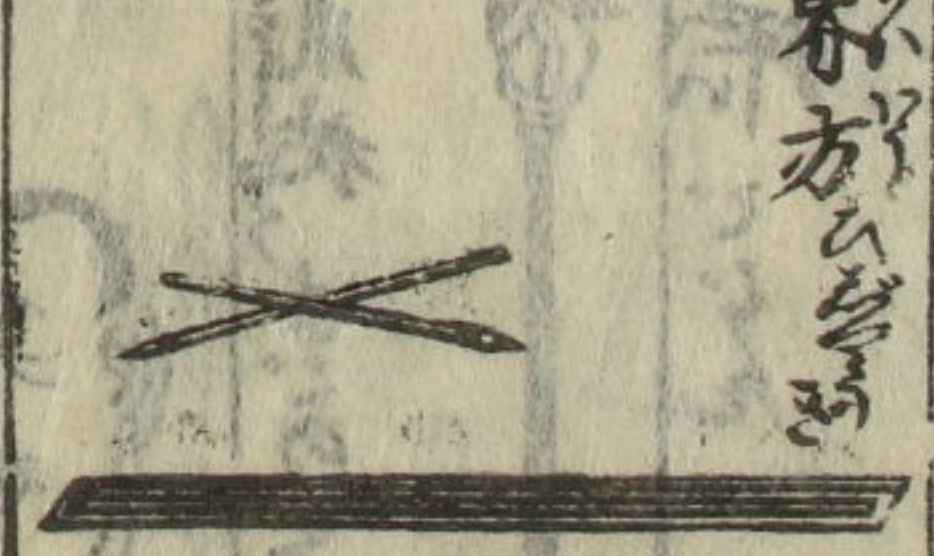
硯屏

硯屏の瓶の
ひふまのつる屏
の瓶の瓶の墨を
瓶の瓶の瓶の
又壺の白
光り



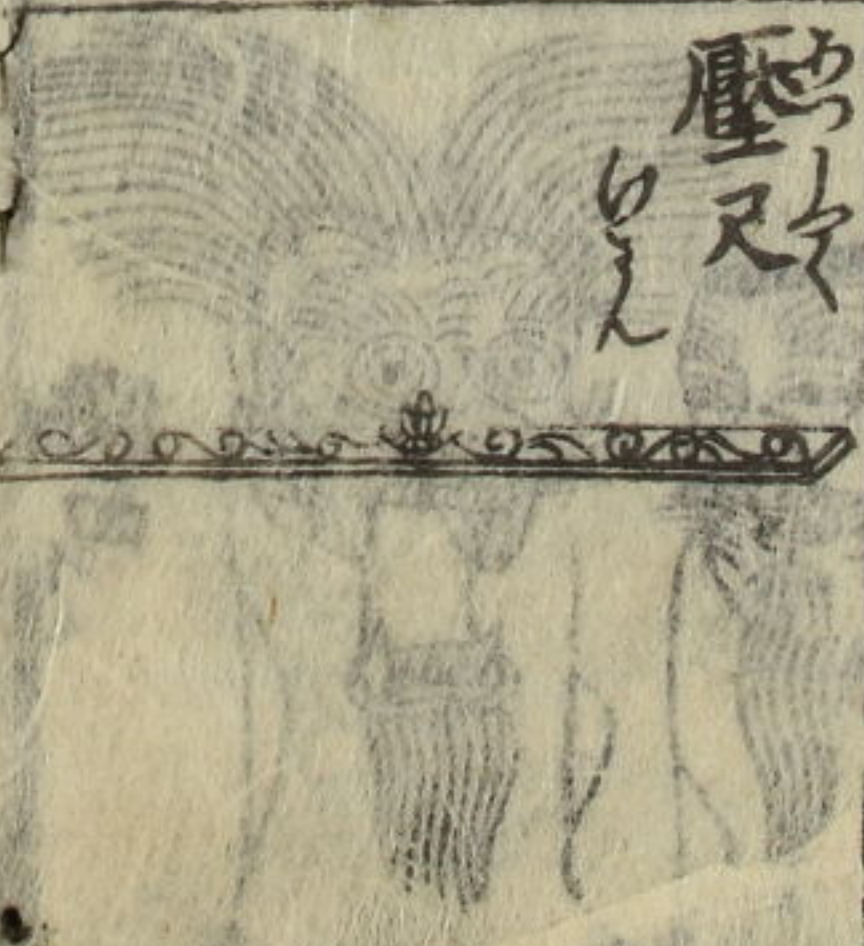
界方

界方の瓶
の瓶の瓶の
壺の瓶の
壺の瓶の



壓尺

壓尺の瓶
の瓶の瓶の
尺の瓶の
尺の瓶の



香爐

香爐の瓶
又ハ香界
香瓶の瓶の
香瓶の瓶の
又ハ香界
香瓶の瓶の



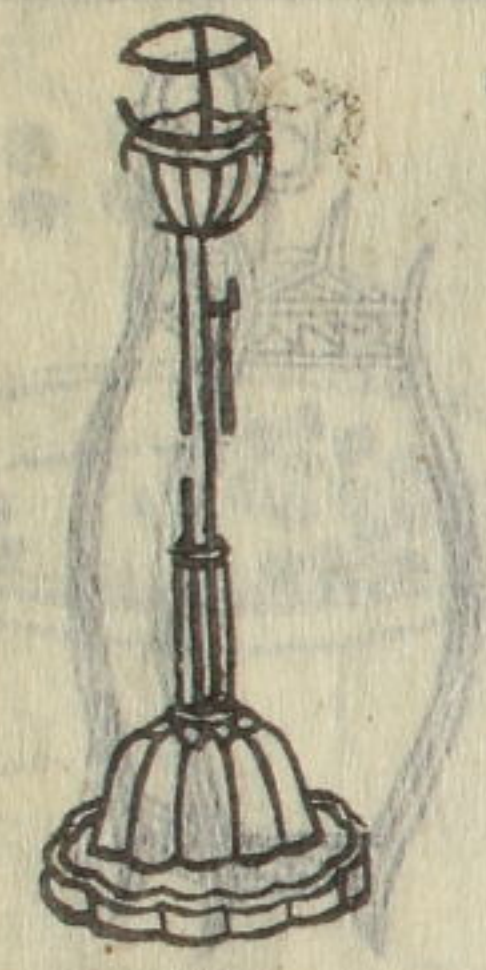
燈籠

燈籠の瓶
又ハ燈籠
燈籠の瓶の
燈籠の瓶の
又ハ燈籠
燈籠の瓶の



燈籠

燈籠の瓶
又ハ燈籠
燈籠の瓶の
燈籠の瓶の
又ハ燈籠
燈籠の瓶の



香爐

香爐の瓶
又ハ香界
香瓶の瓶の
香瓶の瓶の
又ハ香界
香瓶の瓶の



燈奴

燈奴の瓶
又ハ燈奴
燈奴の瓶の
燈奴の瓶の
又ハ燈奴
燈奴の瓶の



燈臺

燈臺の瓶
又ハ燈臺
燈臺の瓶の
燈臺の瓶の
又ハ燈臺
燈臺の瓶の



提燈

提燈ハ今ハ
掛外ハ懸火
トシム

挑燈

挑燈ハ今ハ
挑ト云ハ
挑ト云ハ
挑ト云ハ

蠟燭

蠟燭ハ今ハ
燭ハ油トシ
テ作り竹ノ筒
ハ入ル燭ト
銀ノ筒ト
朱ノ筒ト

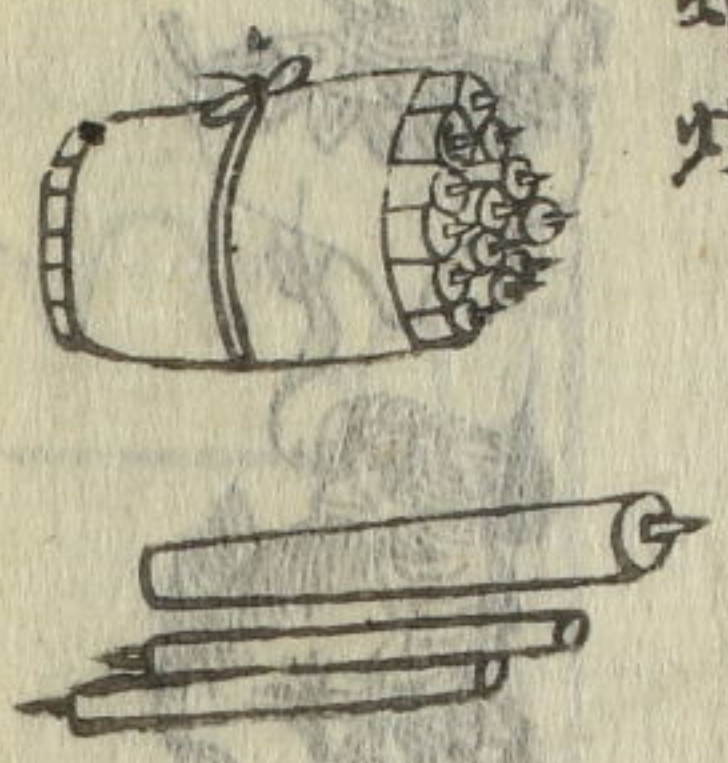
提燈



挑燈



蠟燭



方燈

方燈ハ今ハ
行燈ハ今ハ
方燈ハ今ハ
方燈ハ今ハ

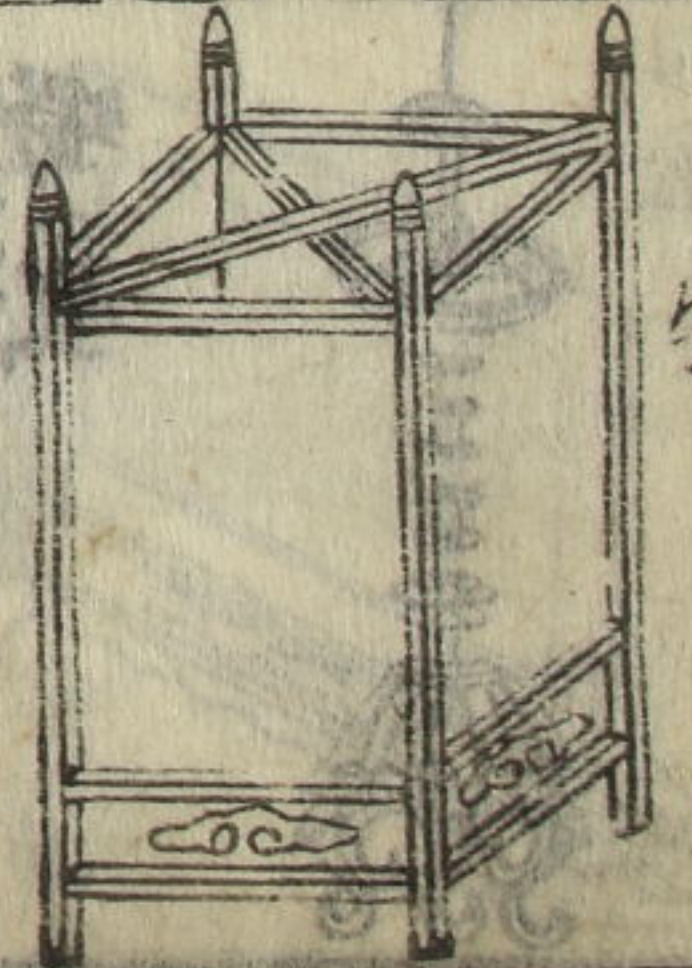
燭

燭ハ今ハ
燭ハ今ハ
燭ハ今ハ

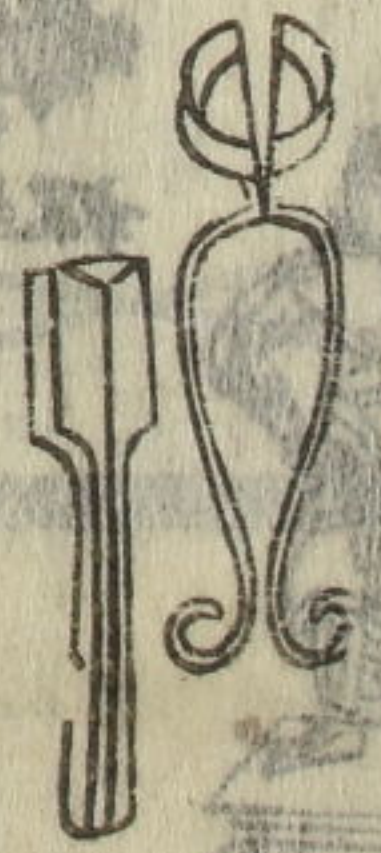
燈

燈ハ今ハ
燈ハ今ハ
燈ハ今ハ

方燈



燭



燈



香盒

香盒ハ今ハ
漆ノ盒ト
銀ノ盒ト
金ノ盒ト

節瓶

節瓶ハ今ハ
節瓶トシ
節瓶トシ
節瓶トシ

香餅

香餅ハ今ハ
炭ノ餅ト
炭ノ餅ト
炭ノ餅ト

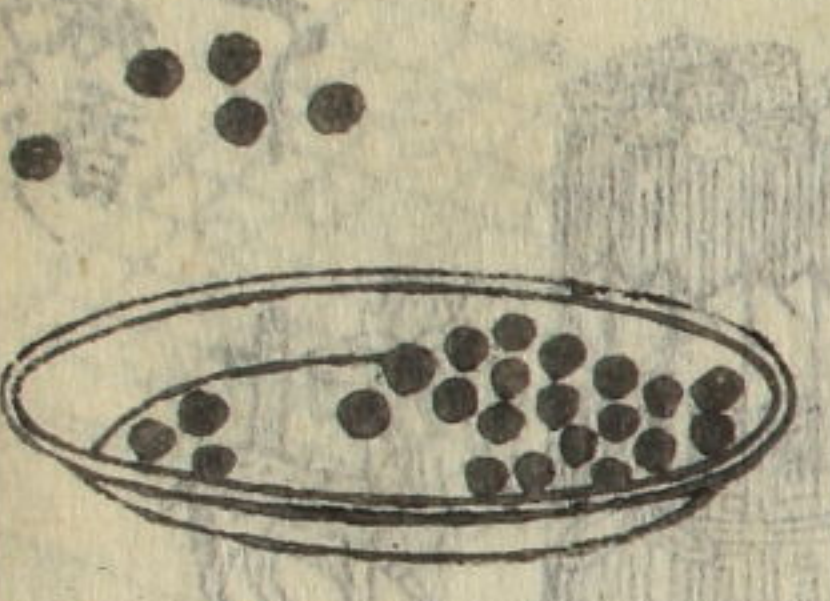
香盒



節瓶



香餅



香案

香案ハ今ハ
香案トシ
香案トシ
香案トシ

羯鼓

羯鼓ハ今ハ
羯鼓トシ
羯鼓トシ
羯鼓トシ

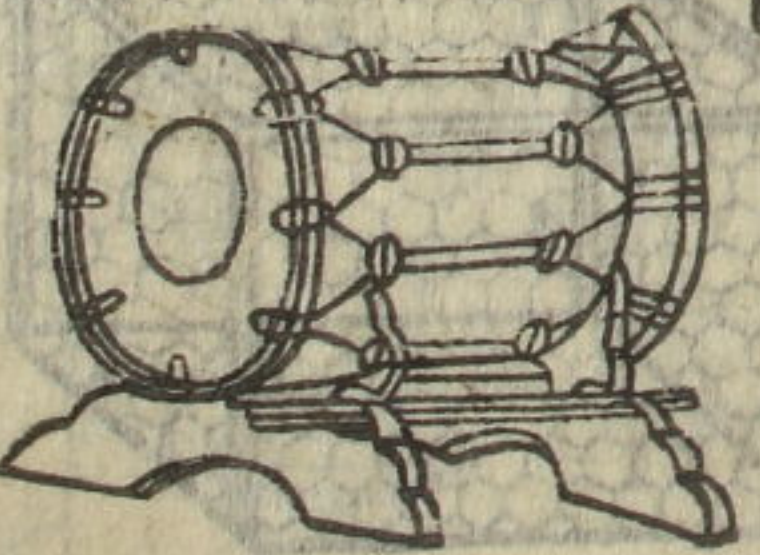
腰鼓

腰鼓ハ今ハ
腰鼓トシ
腰鼓トシ
腰鼓トシ

香案



羯鼓



腰鼓



○線香ハ線ハ
 ことしててこい
 ことらひくく
 香のり香も
 入取来り香

線香



銅鉢

○銅鉢ハ僧鉢
 けん熱しり
 んハ摩訶のり

銅鉢



風鐸

○風鐸ハ寶鐸
 かり又權鐸も
 りの堂の鐸も

風鐸

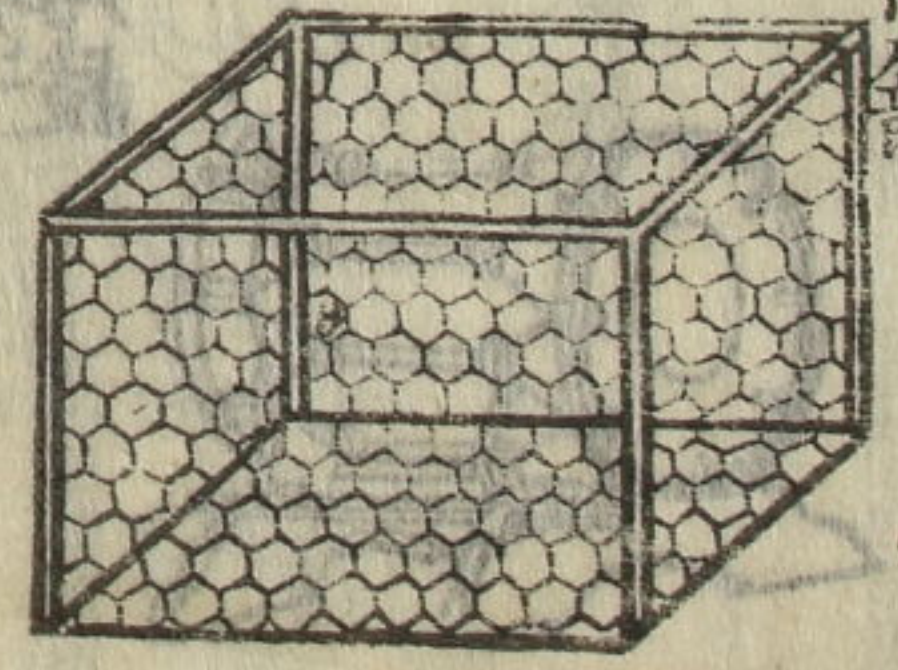


抱
 抱ハ大鼓
 持ハとま
 撥ハ懸色三味線
 のしらかり
 薫籠ハ今
 少セこり又火
 籠も衣篝しも

抱



薫籠



佩香
 佩香ハ今
 けりハの
 やつとも
 香囊ハけり

佩香



雲版
 ○雲版ハ
 らんハ
 大衆とわつし
 うののり

雲版



投壺

○投壺ハ
 の御法
 になど
 あり

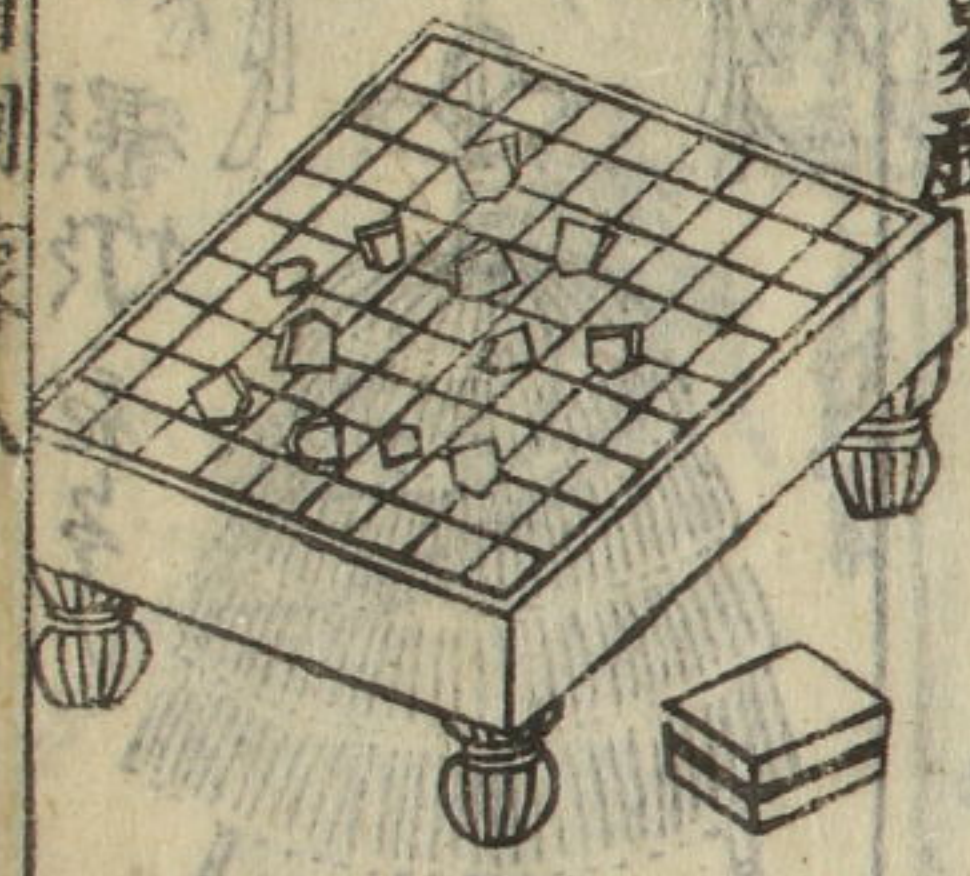
投壺



象戯

○象戯ハ
 且つら
 大中小の
 又摩訶
 ともわり

象戯

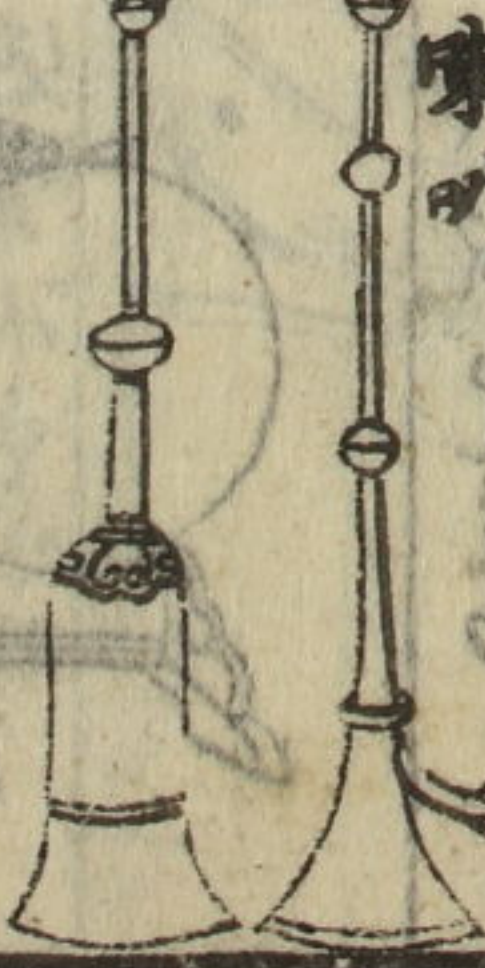


噴
 ○噴ハ
 吹ハ
 吹ハ
 吹ハ

噴



吹



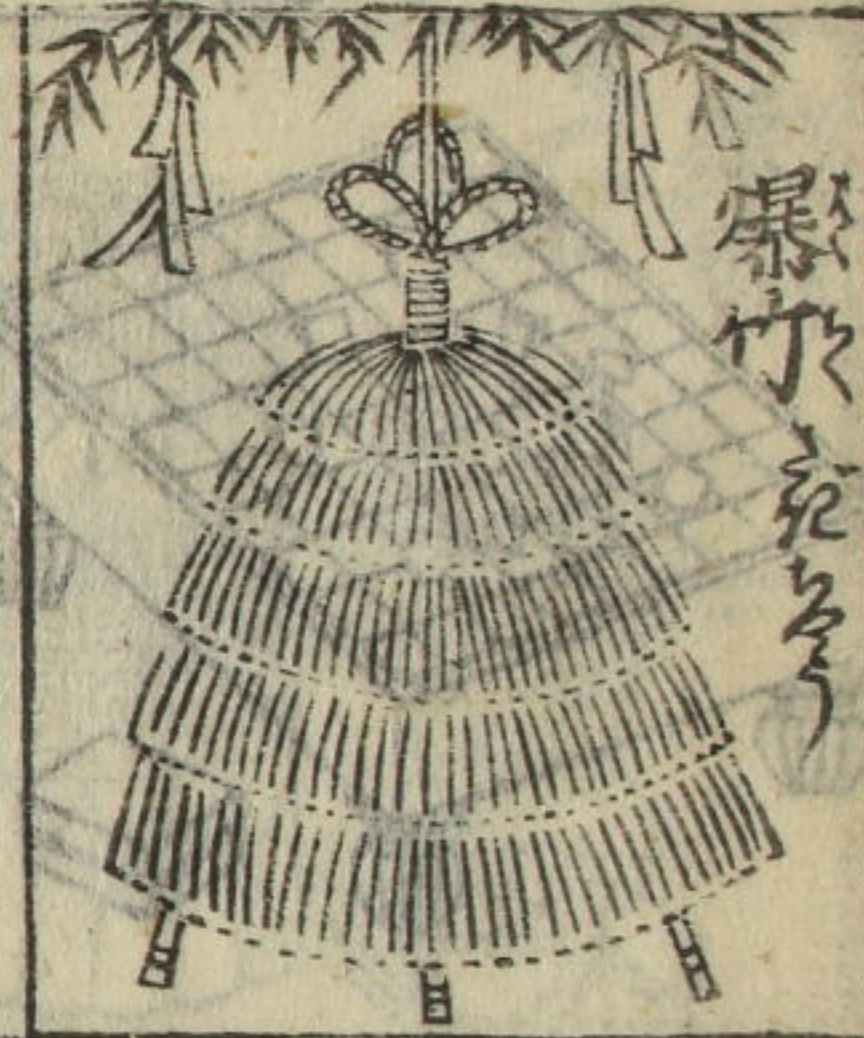
油瓶



煙火

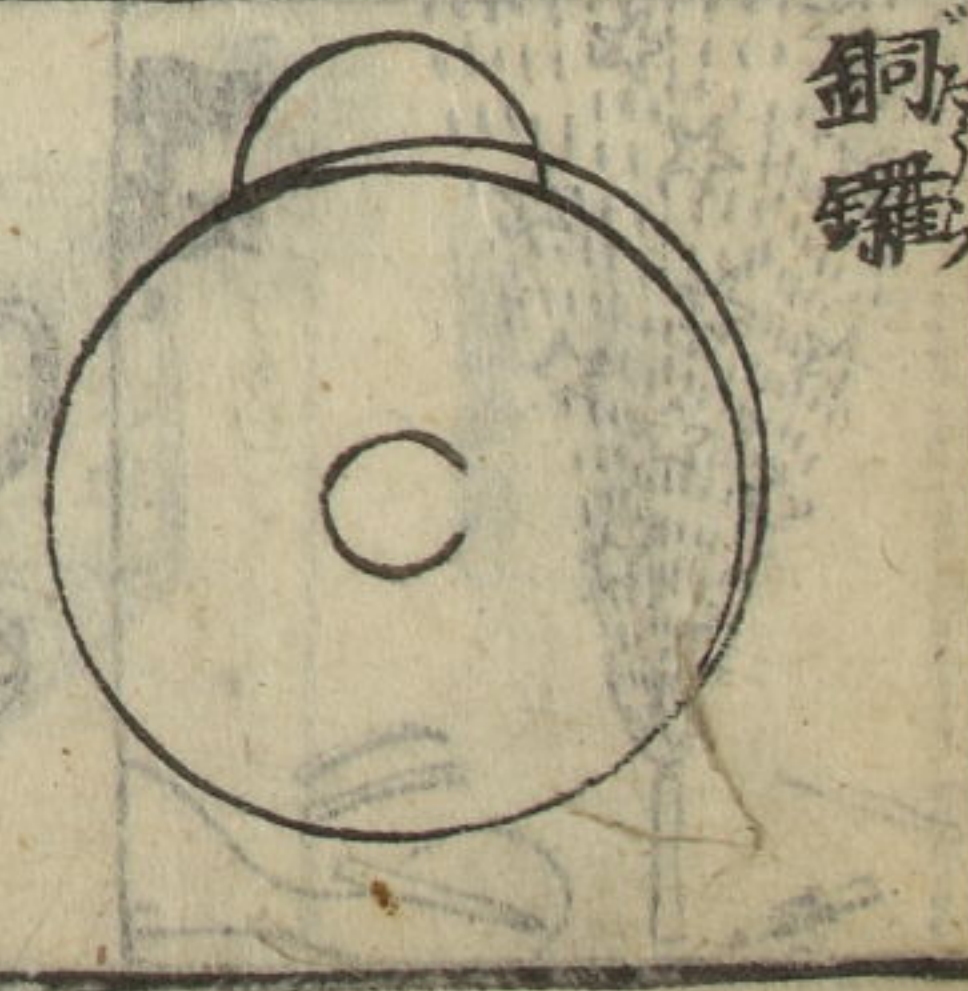


○薬竹の竹の皮
 此竹の皮をこのこ
 ろにまいて殺鬼
 の効きを得たり
 又天竺の竹皮を
 焼いて時佛の
 経をたて進経を石
 についたたどるよ
 佛の経をけりて
 たのき長をい
 したを去るよ
 秘杖
 秘杖 虫を
 つかむに
 つかむに
 つかむに



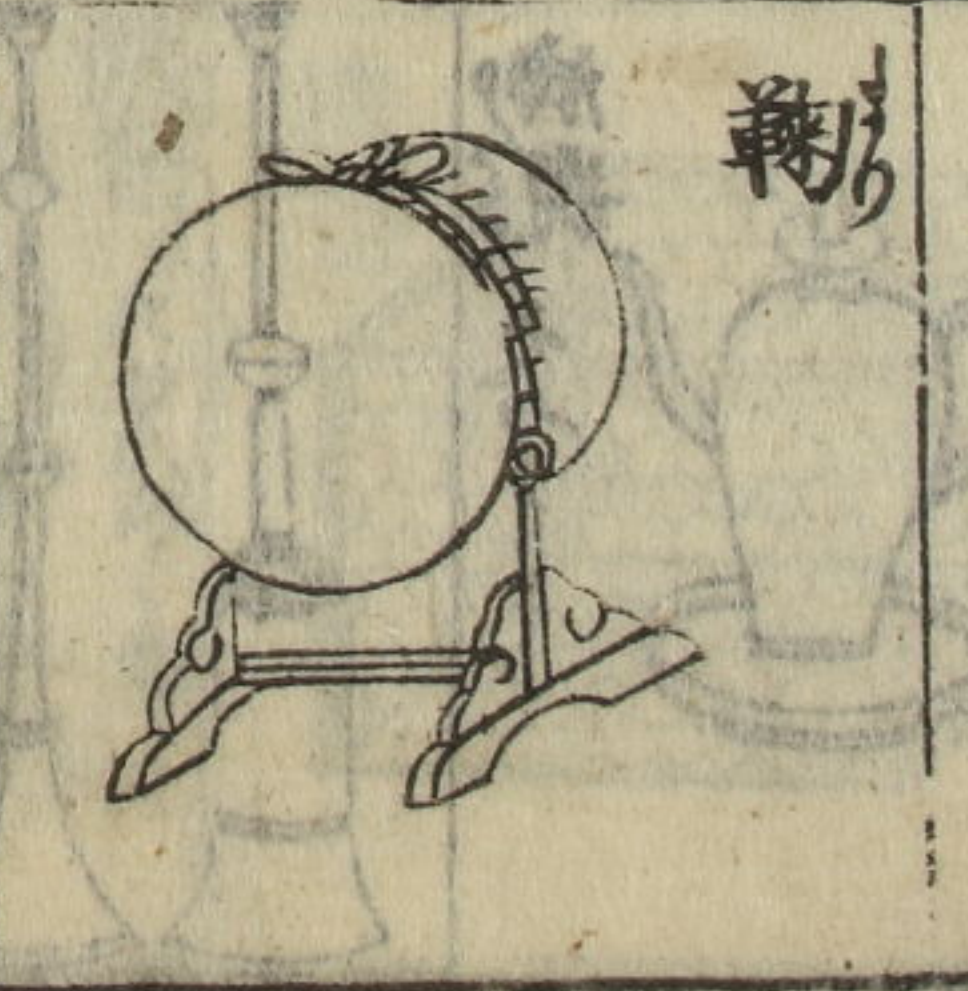
銅鑼

○銅鑼 今も
 一巻の筋あり
 鉦あり



鞠

○鞠 今も
 丸を打つてあけ家
 多の地打はいた
 近頃のふりの



拍杖

○拍杖 今も
 じんごらあり又
 拍子とり



紙偶人

○紙偶人 紙を
 切ると木偶人
 土偶人紙を
 つらつらと紙偶
 人あり



空鐘

○空鐘 今も
 白のり獨樂と
 りふれ鬼のり
 りとあり



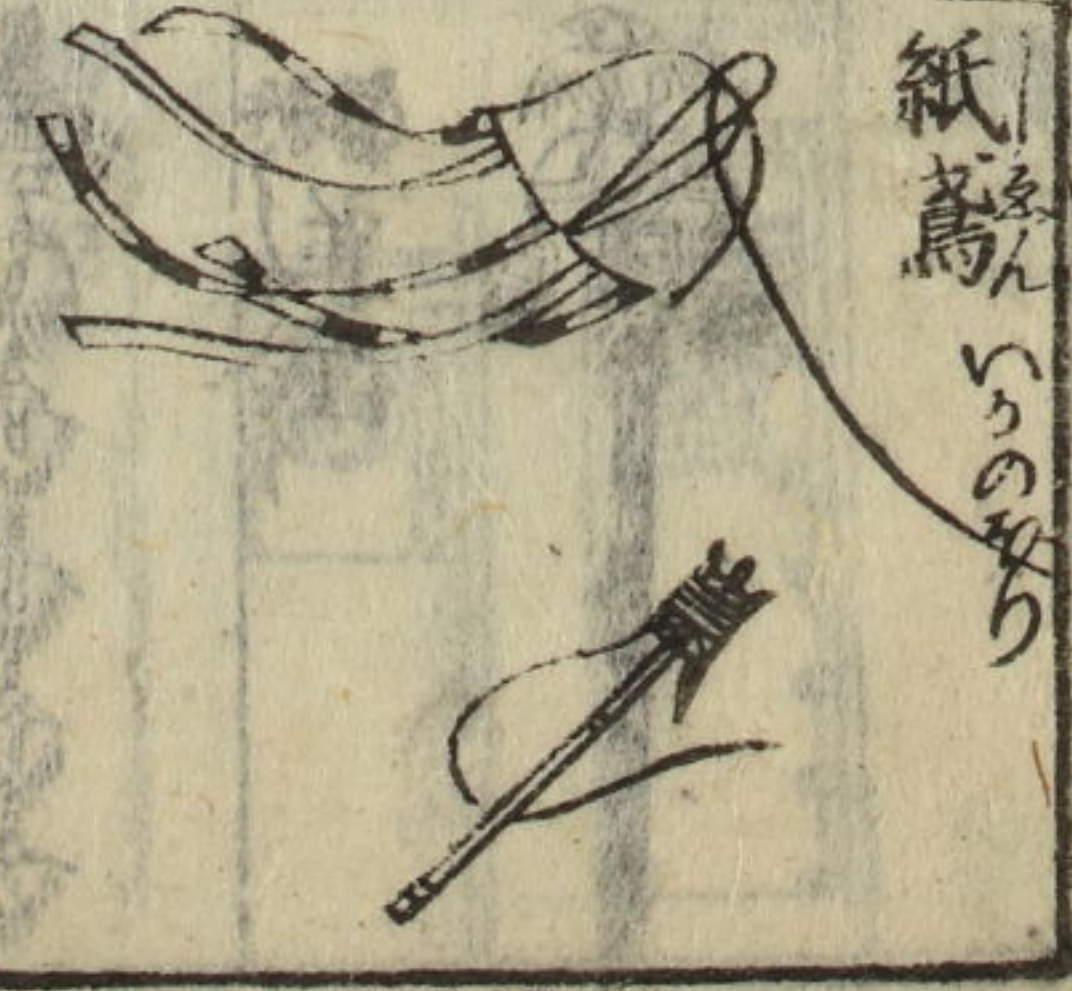
竹馬

○竹馬 今も
 竹馬のりあり
 竹馬のりあり



紙鳶

○紙鳶 今も
 紙を切ると風鳶
 ものと風鳶と



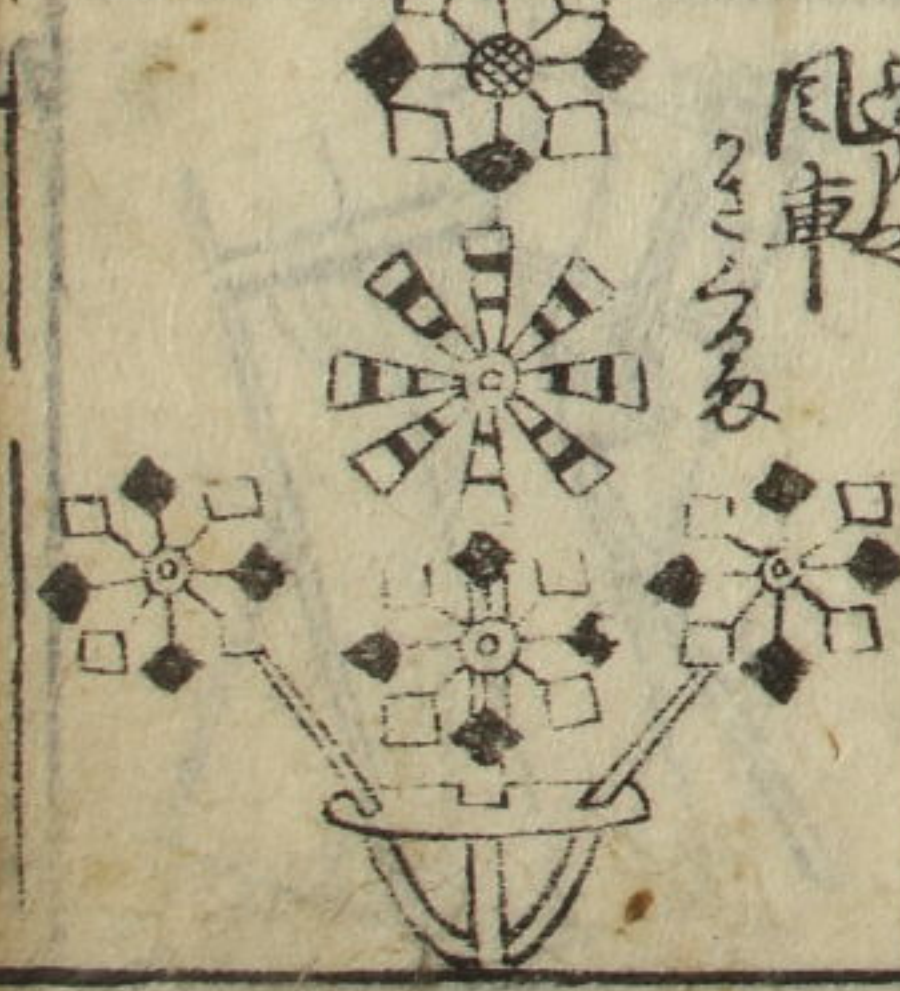
陀螺

○陀螺 今も
 のお鬼のりあり
 ぶもなり



風車

○風車 今も
 ありあり



頭書增補訓蒙圖彙卷之九

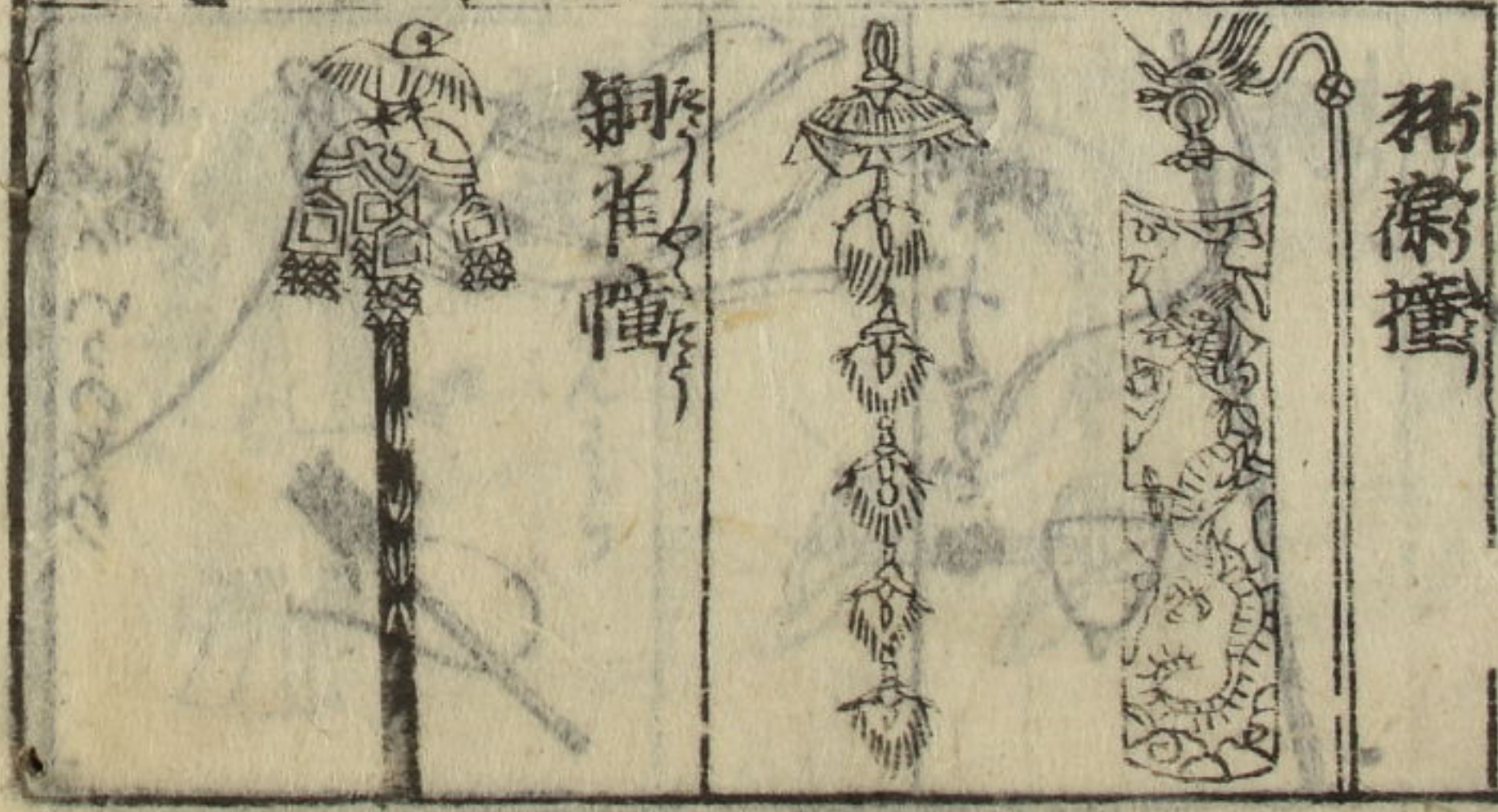
器用

註前より

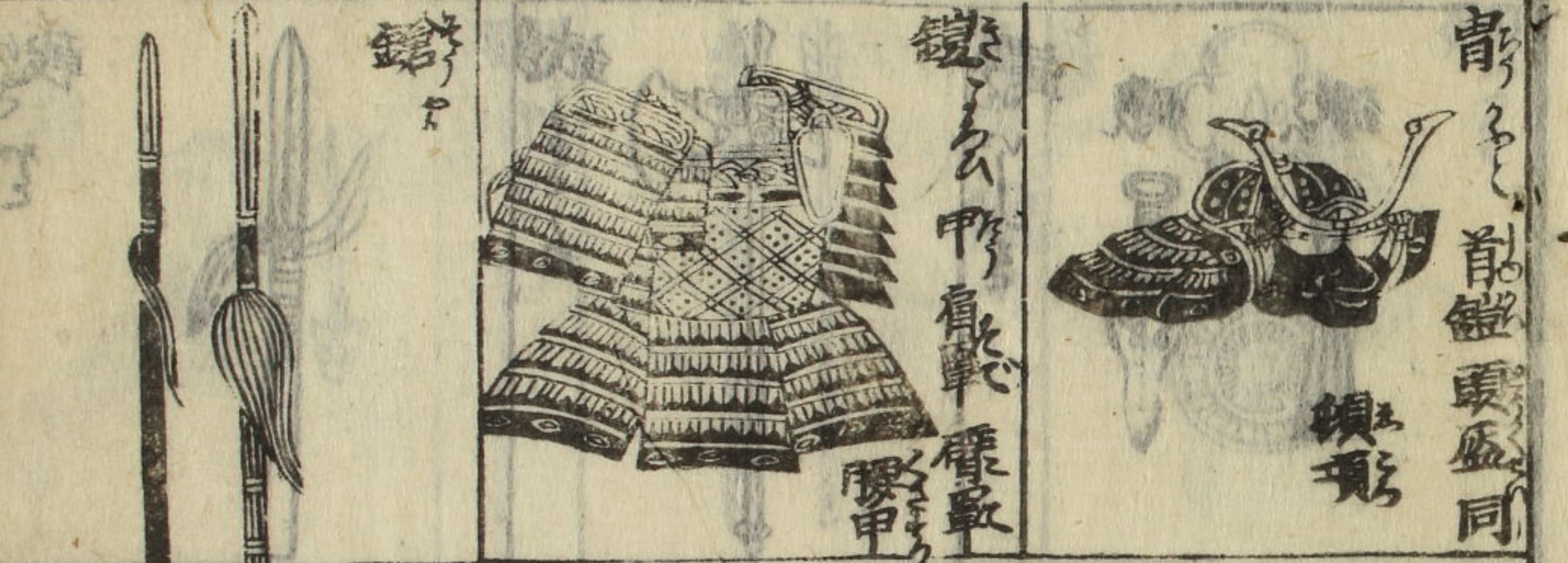
○櫛の兵家子姑
 ありては源家白
 平家紅家印の
 木色橋家黄
 ありそのやうな家
 くはとめはゆる
 毒蘇
 ○毒蘇の息練に
 ころころ虫むか
 首にあたり黄
 帝のいたむか
 くれとつくか



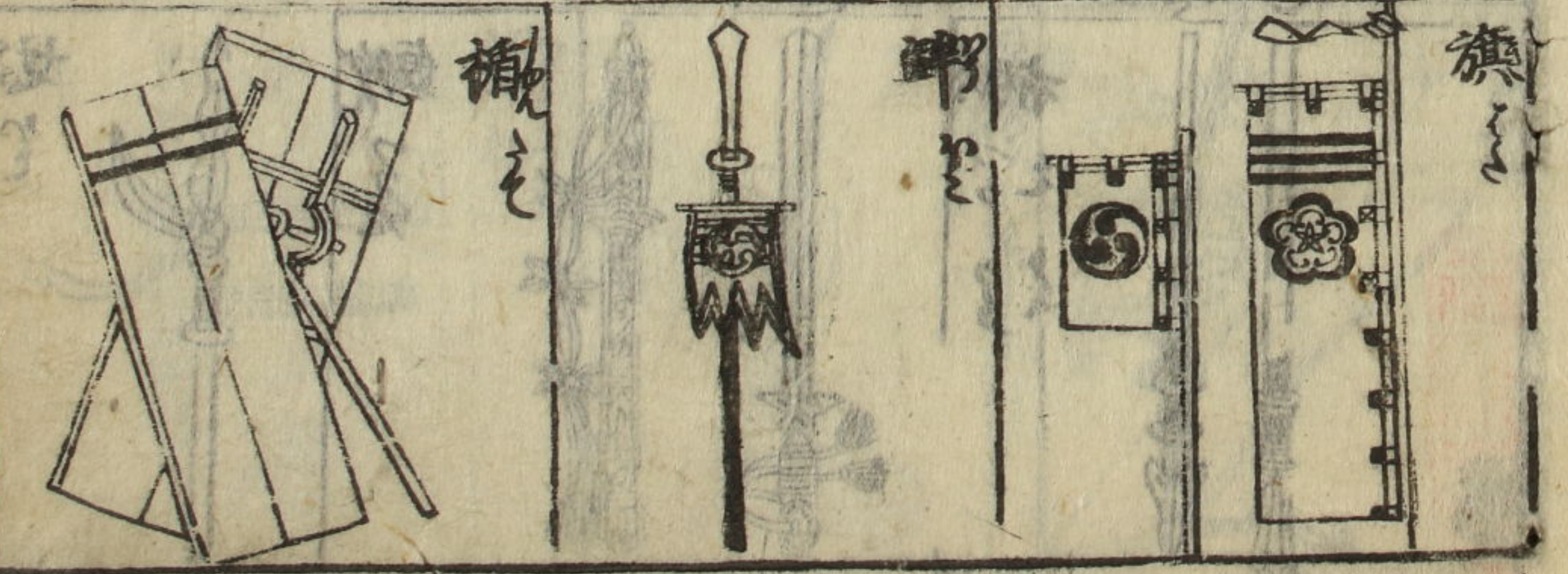
○櫛の蘇より旗
 旗のくくひは楚に
 の櫛より開の
 蘇より櫛より
 銅雀櫛
 櫛よりくくひは楚に
 銅雀櫛
 櫛よりくくひは楚に
 銅雀櫛



○櫛の鬼蘇し
 り黄帝これと
 つくか鞠の板ろ
 教より何鞠貫
 鐵
 ○鐵の金物の十三
 上卷上巻矢込志
 かの鐵木下乃鐵
 再幣付等しく
 色そありれり故
 具是より
 鐵
 ○櫛の熊に文明の
 比ありつるは
 親に黄帝其元
 々々の附れ下り



○旗のくくひは楚に
 旗のくくひは楚に
 旗のくくひは楚に
 旗のくくひは楚に
 旗のくくひは楚に
 旗のくくひは楚に
 旗のくくひは楚に
 旗のくくひは楚に

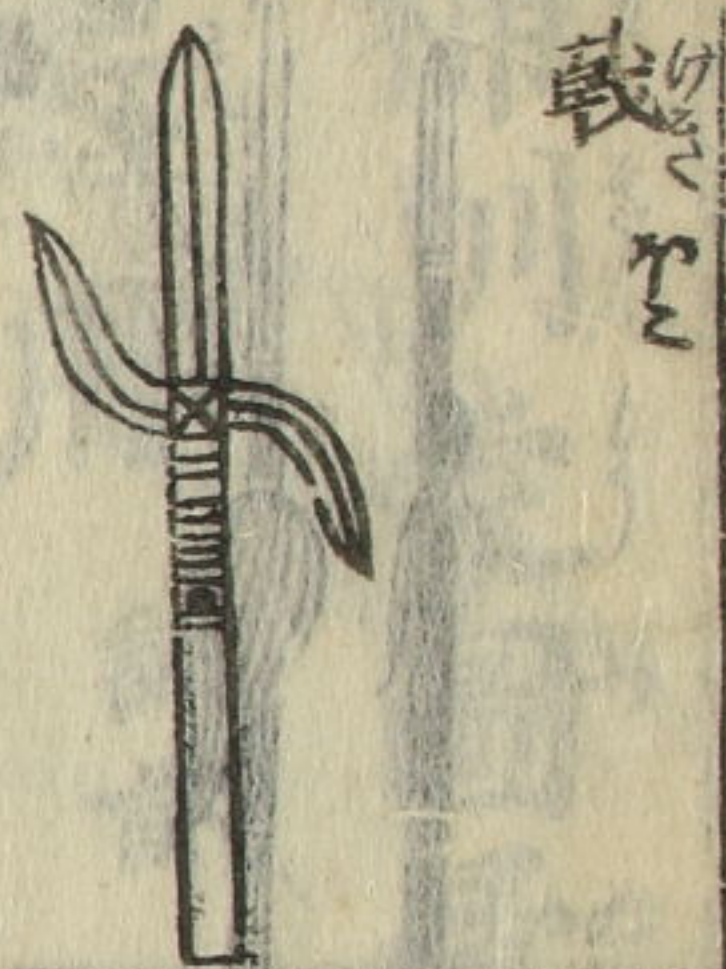


鐵ハ柄の長ハ
中のみ七寸
半ハ柄ハ
新ハ柄ハ

鐵
まきり

鐵ハ柄の長ハ
八寸あり柄大
あり

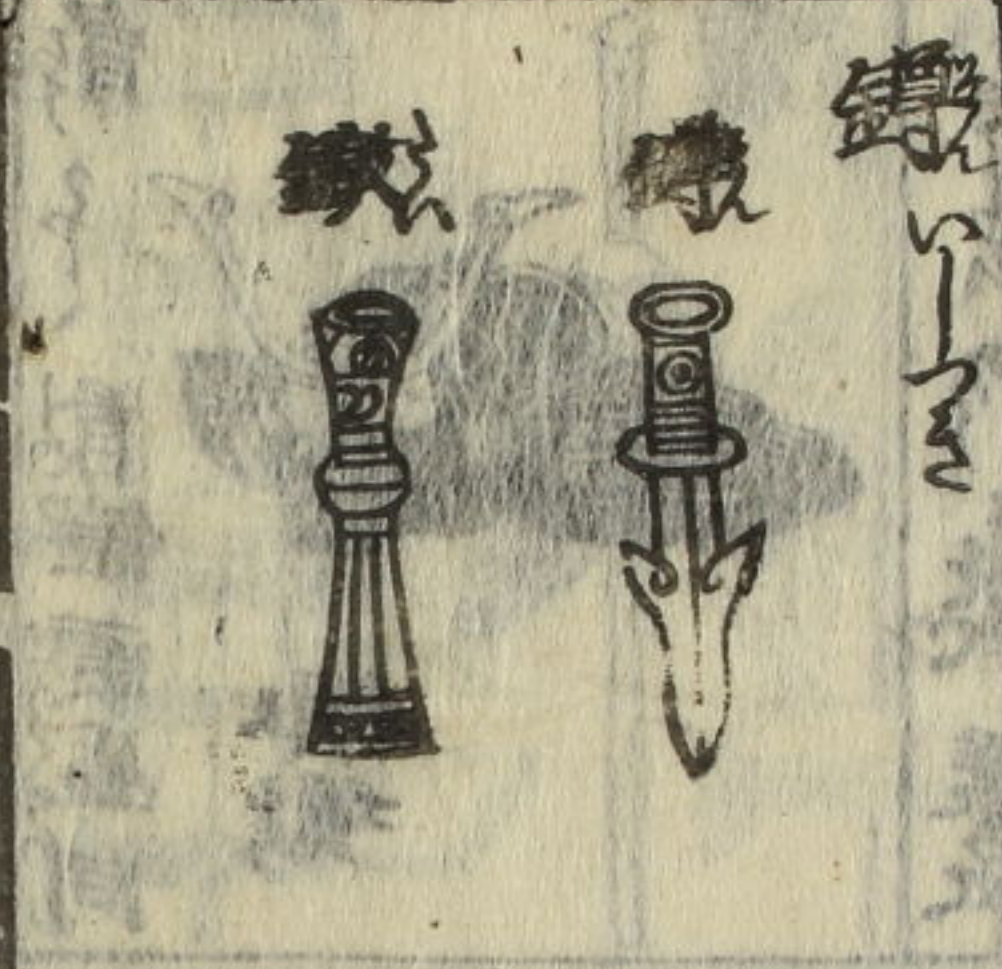
鐵ハ柄の長ハ
八寸あり柄大
あり



鐵
まきり



鐵
まきり



鐵
まきり

鐵ハ柄の長ハ
中のみ七寸
半ハ柄ハ

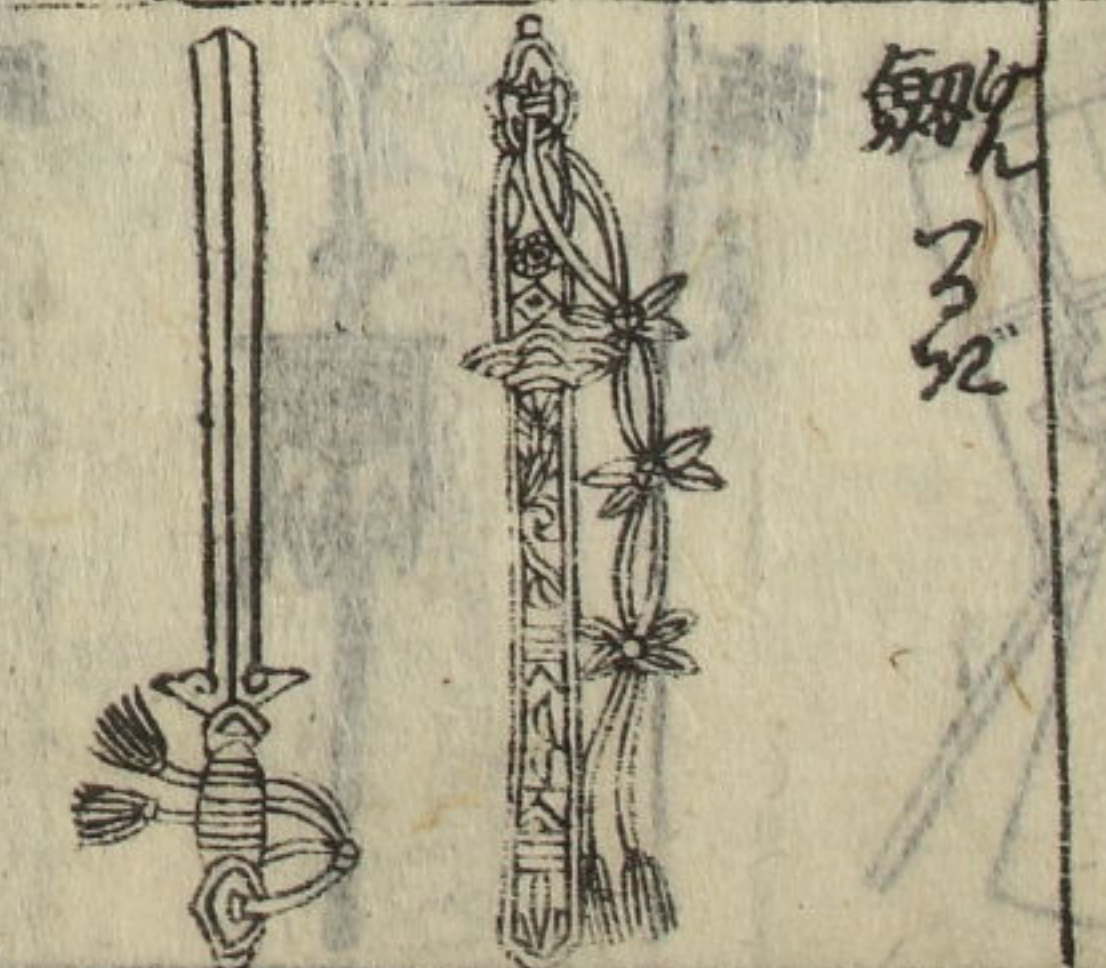
鐵
まきり

鐵ハ柄の長ハ
八寸あり柄大
あり

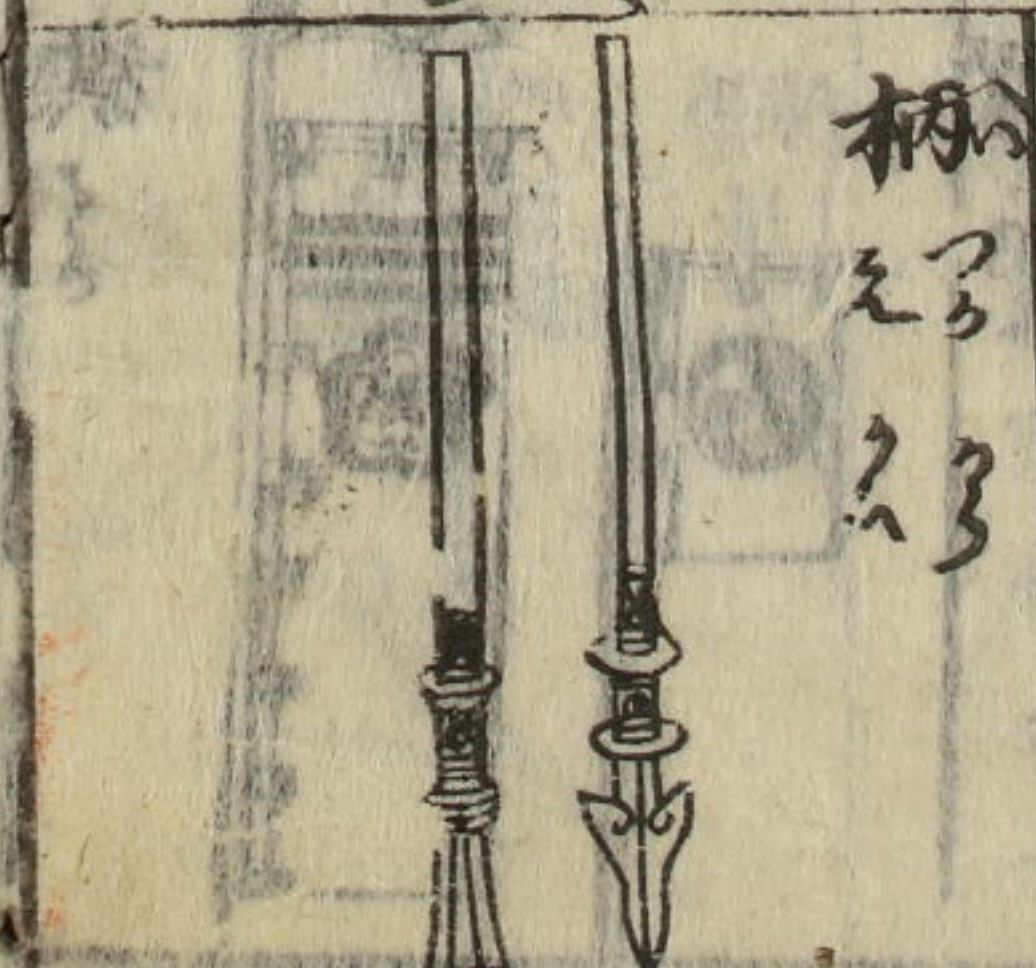
鐵ハ柄の長ハ
八寸あり柄大
あり



鐵
まきり



鐵
まきり



鐵
まきり

鐵ハ柄の長ハ
中のみ七寸
半ハ柄ハ

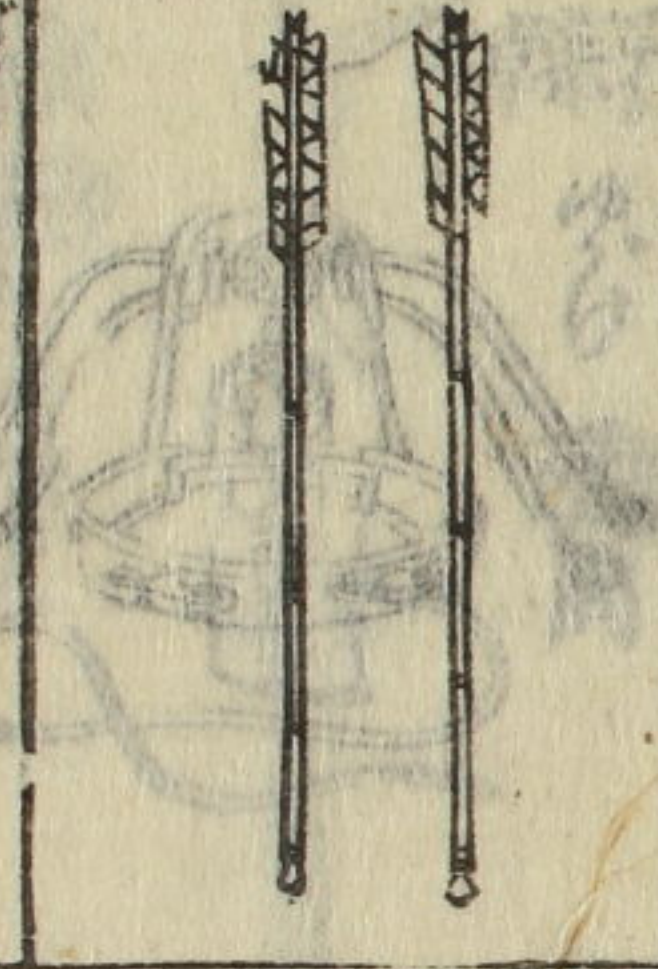
鐵
まきり

鐵ハ柄の長ハ
八寸あり柄大
あり

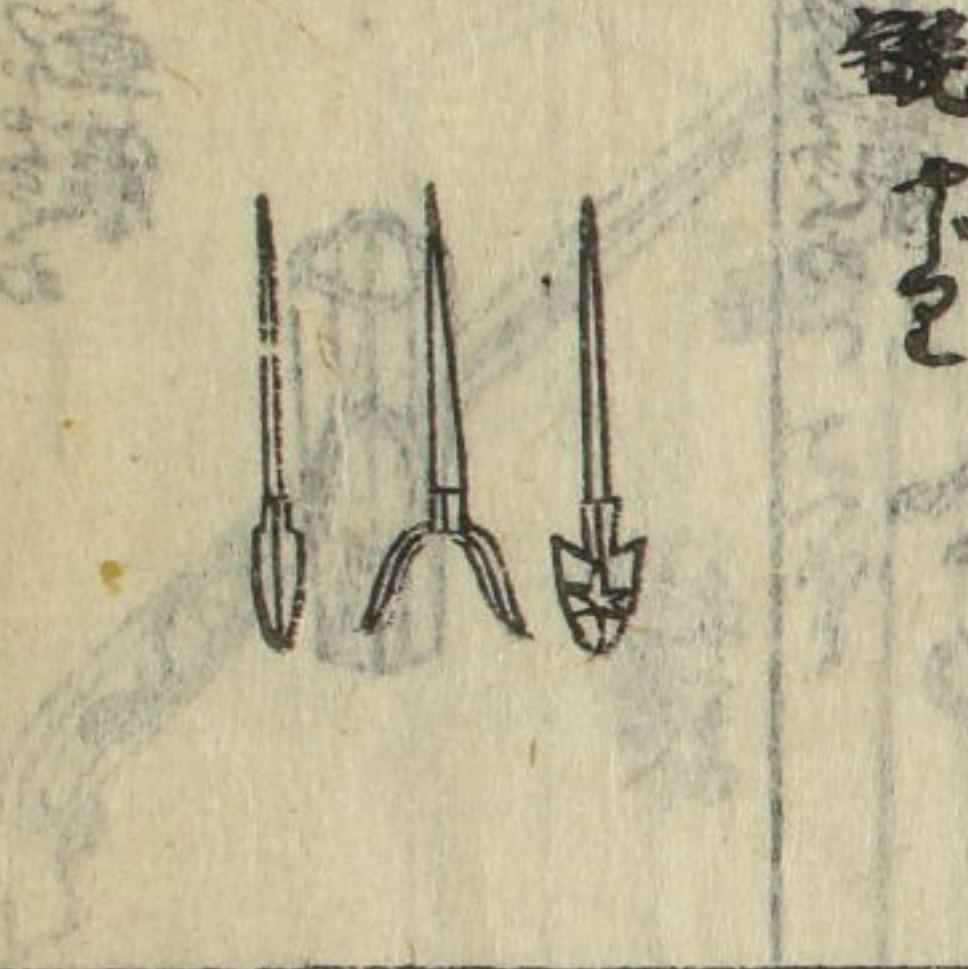
鐵ハ柄の長ハ
八寸あり柄大
あり



鐵
まきり



鐵
まきり



鐵ハ柄の長ハ
中のみ七寸
半ハ柄ハ

鐵
まきり

鐵ハ柄の長ハ
八寸あり柄大
あり

鐵
まきり



鐵
まきり



鐵
まきり



鐵
まきり

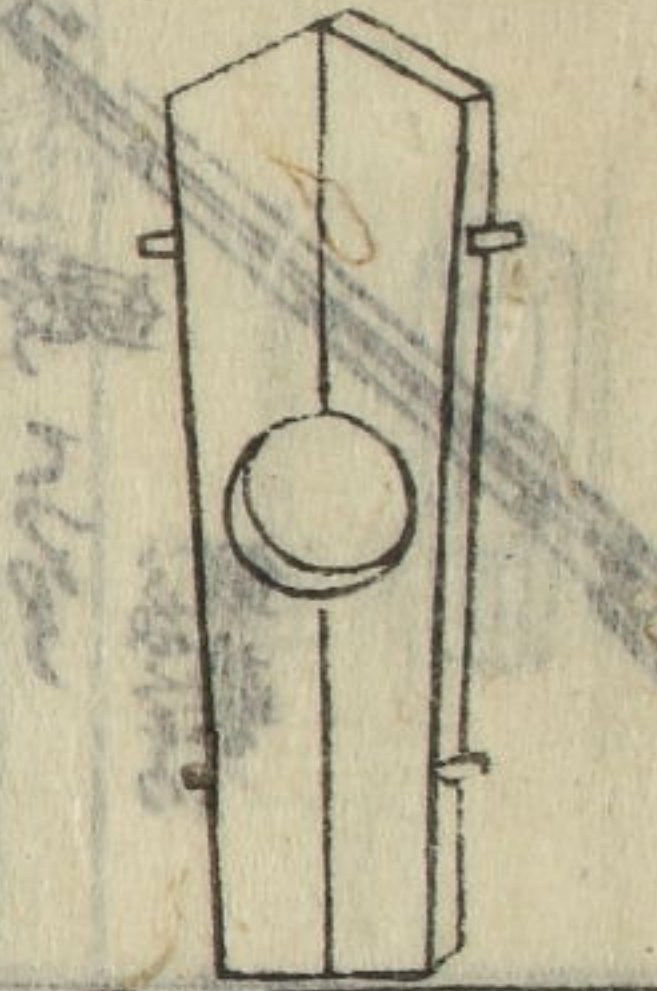


柳やなぎの葉はあり
足あしのくりあり手て
とあり

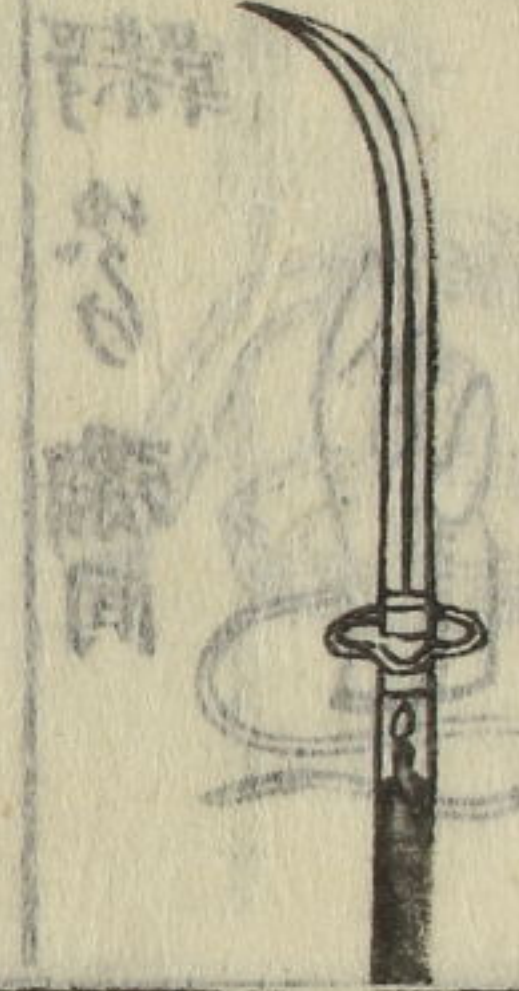
長なが劔けん今いまのく長なが
刀かたなのく雜ざい刀ぶとも
儼げん月げつ刀ぶ肩かた尖と刀ば
ともあり

劔けん又また今いまのく十じゅう
文ぶんのく鎧よろい又また鎧よろい
とあり

柳やなぎのく



長なが劔けん



劔けん又また今いまのく十じゅう



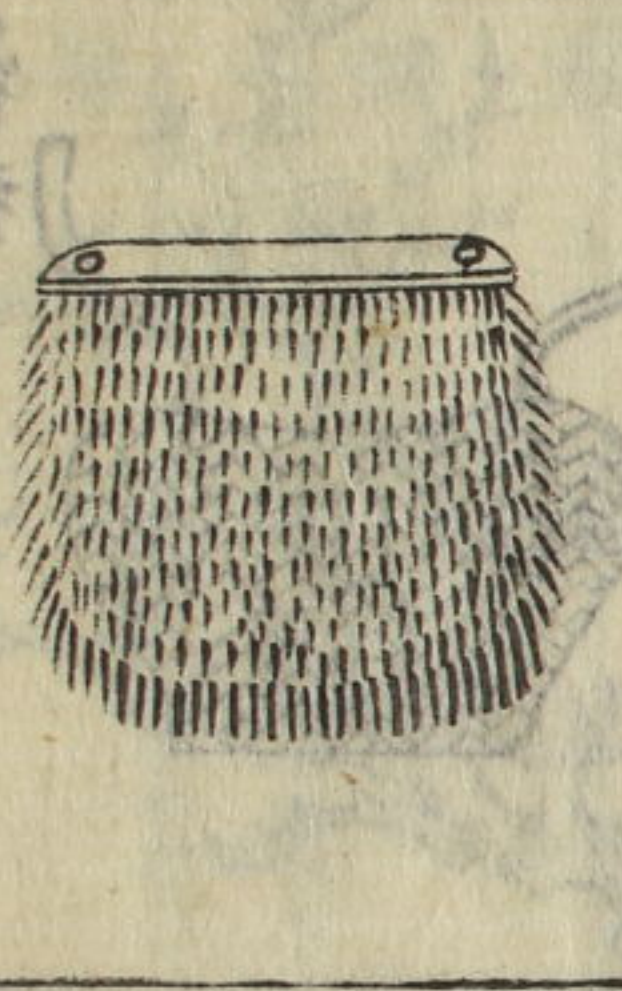
鞍くら今いまのく



鞍くら今いまのく



障しょう泥でい今いまのく

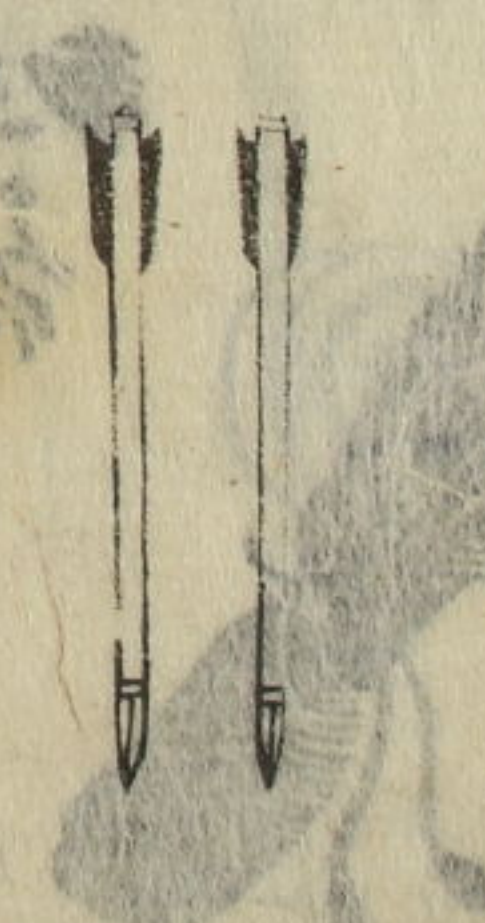


砲ぱう今いまのく機きとあり
石いしとと発はつ射しやして城じやうを
とと射しやのく具ぐあり



砲ぱう今いまのく

火か箭せん今いまのく陣じん
をを射しやつとあり
火か矢や大だい目もく火か矢やか
とあり



鐵てつ鞭べん今いまのく

鐵てつ鞭べん今いまのく雜ざい色しきの
とあり



鎧よろい今いまのく同どう



轡くわ今いまのく



籠かご今いまのく



鞍くら今いまのく馬うまのく頭かぶと
とあり
各かく頭かぶとあり

障しょう泥でい今いまのく鞍くら
とあり
各かく頭かぶとあり

又また過か今いまのく同どう
とあり

鞍くら今いまのく同どう
とあり

鞍くら今いまのく同どう
とあり

首くび列れつ家け

首くび列れつ家け

十三

十二

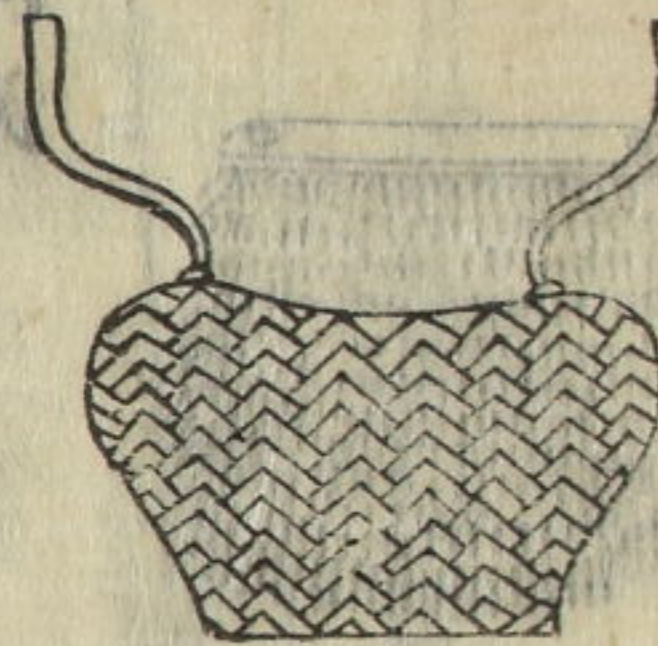
麩香ほろけ 麩ほろ 香け 麩香ほろけ 麩ほろ 香け 麩香ほろけ 麩ほろ 香け

鉗くわん 鉗くわん 鉗くわん 鉗くわん 鉗くわん 鉗くわん 鉗くわん 鉗くわん

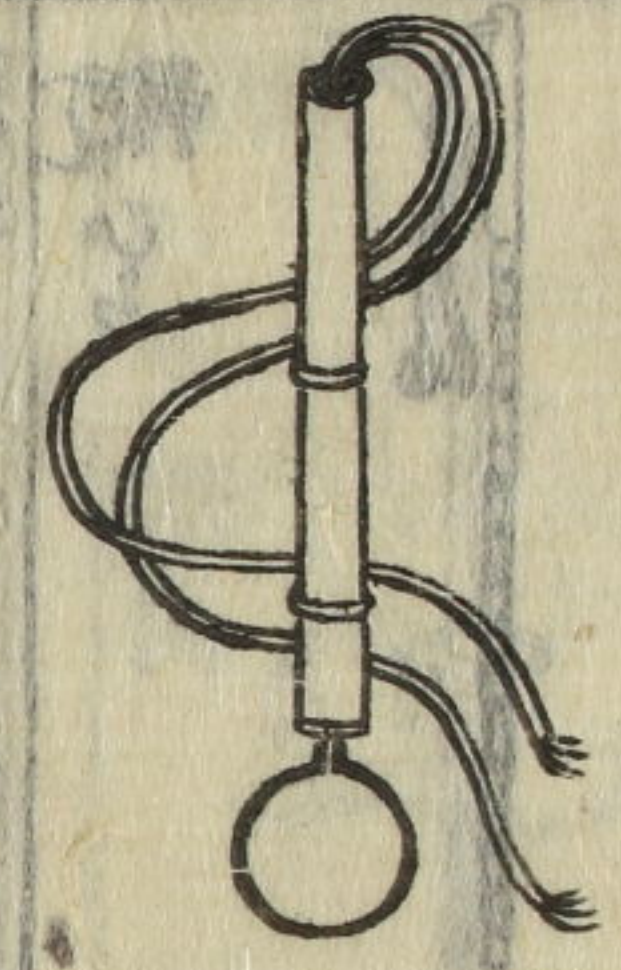
三道具さんどうぐ 三さん 道どう 具ぐ 三道具さんどうぐ 三さん 道どう 具ぐ

棍こん 棍こん 棍こん 棍こん 棍こん 棍こん 棍こん 棍こん

麩香ほろけ 麩ほろ 香け 麩香ほろけ 麩ほろ 香け



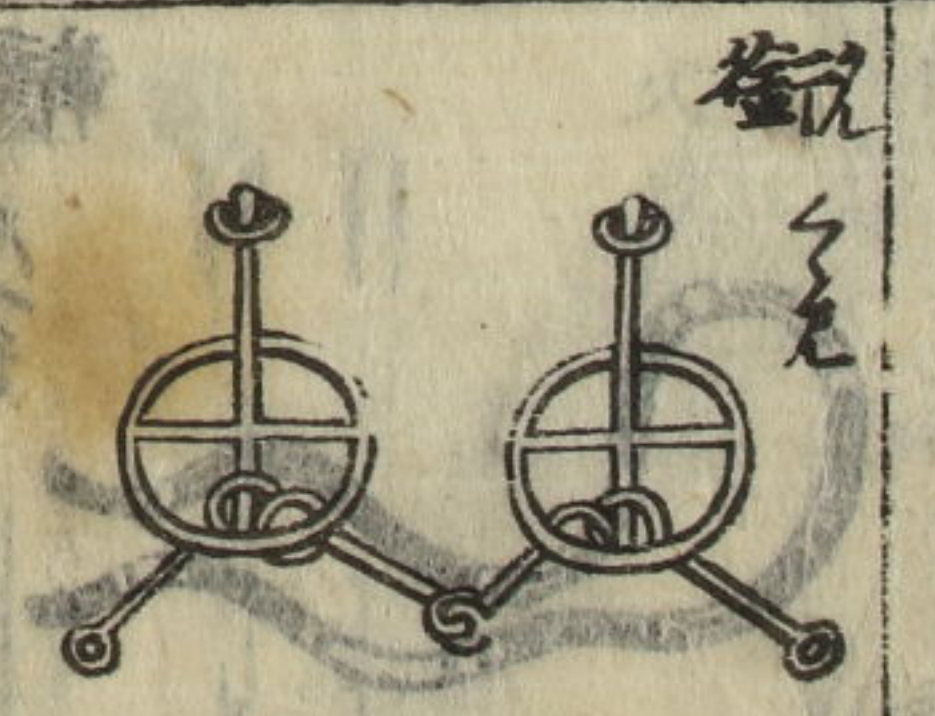
鉗くわん 鉗くわん 鉗くわん 鉗くわん 鉗くわん 鉗くわん 鉗くわん 鉗くわん



鞆たづな 鞆たづな 鞆たづな 鞆たづな 鞆たづな 鞆たづな 鞆たづな 鞆たづな



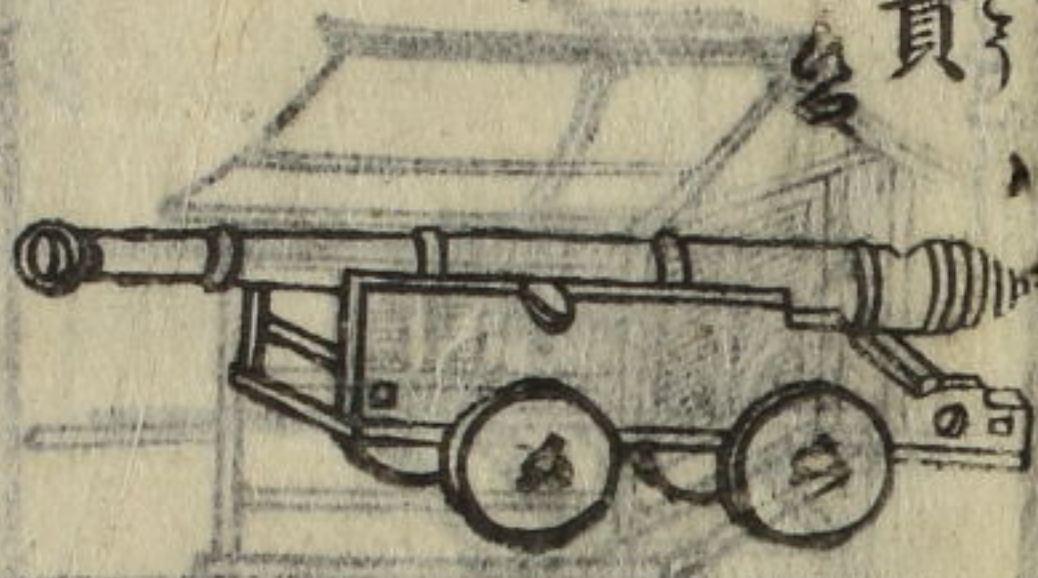
銜くわん 銜くわん 銜くわん 銜くわん 銜くわん 銜くわん 銜くわん 銜くわん



鑣くわん 鑣くわん 鑣くわん 鑣くわん 鑣くわん 鑣くわん 鑣くわん 鑣くわん



發貢はつこう 發はつ 貢こう 發貢はつこう 發はつ 貢こう



野石のせき 野の 石せき 野石のせき 野の 石せき



鹿岩しかが 鹿しか 岩が 鹿岩しかが 鹿しか 岩が



舟ふね 舟ふね 舟ふね 舟ふね 舟ふね 舟ふね 舟ふね 舟ふね



船ふね 船ふね 船ふね 船ふね 船ふね 船ふね 船ふね 船ふね



船ふね 船ふね 船ふね 船ふね 船ふね 船ふね 船ふね 船ふね



笠
笠のありしあり
扱つともあり

鞆
鞆てらる

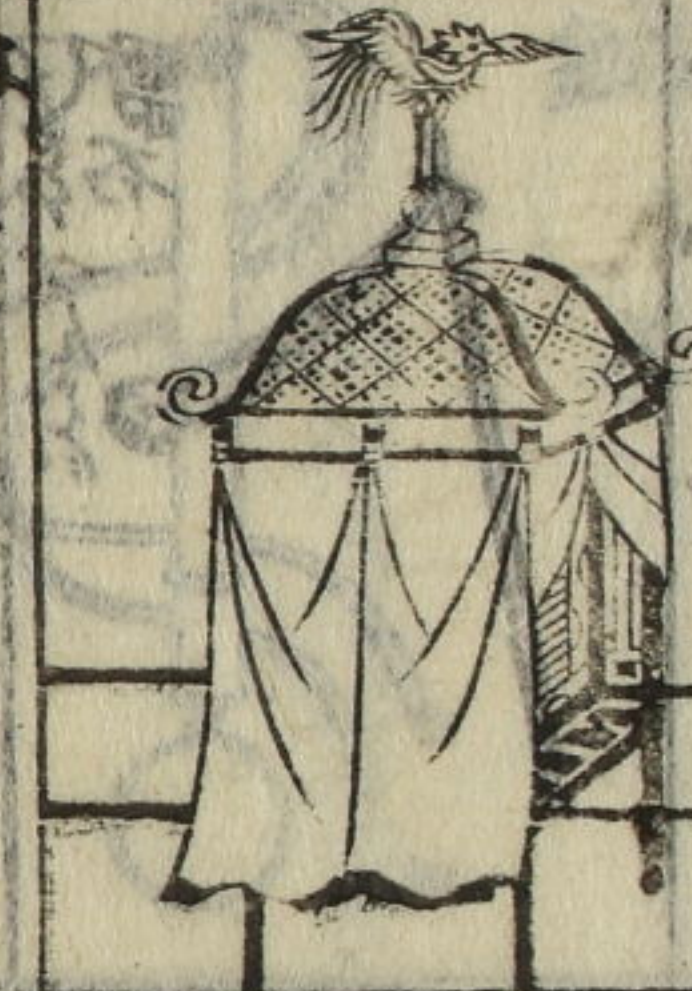
鞆の天引の
のりあふ御輿の
御輦とも王輦
ともいふ又厚輦
ともいふ

輿
輿

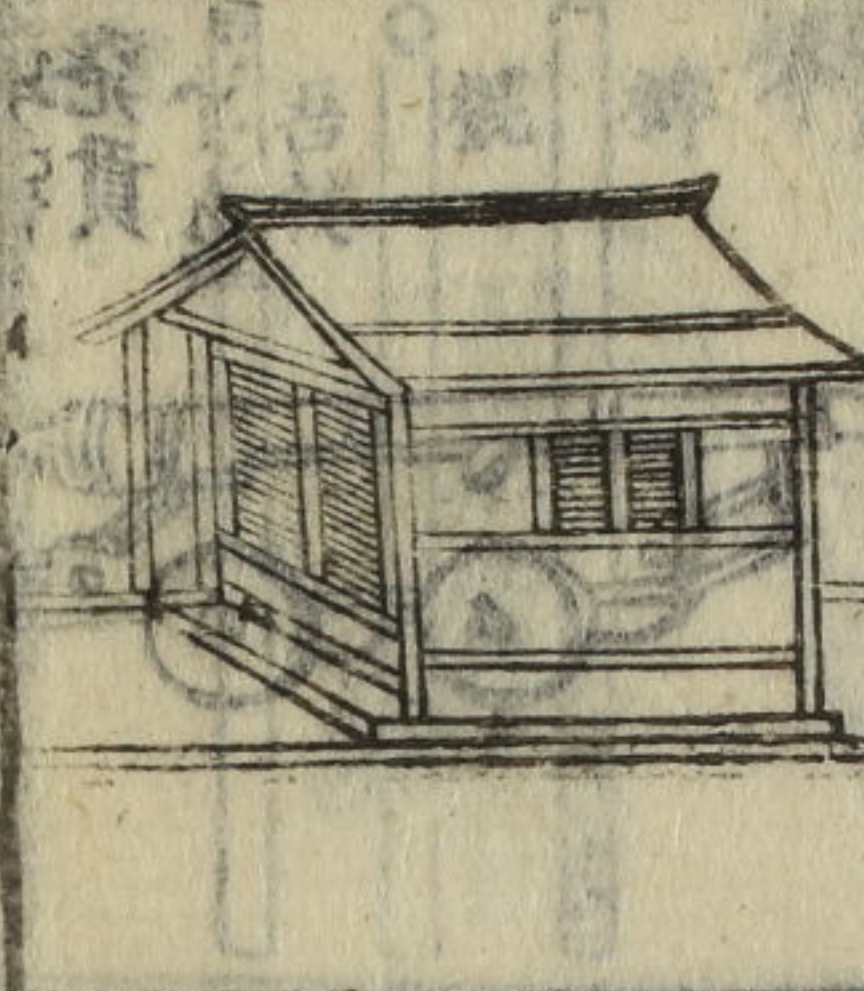
輿のいふ輿
角ののりく
輿のいふ輿
のりあふ御輿
ともいふ



輦
輦てらる



輿
輿



船
船のいふ

船のいふ船あり
のりあふ船あり
船のいふ船あり
船のいふ船あり

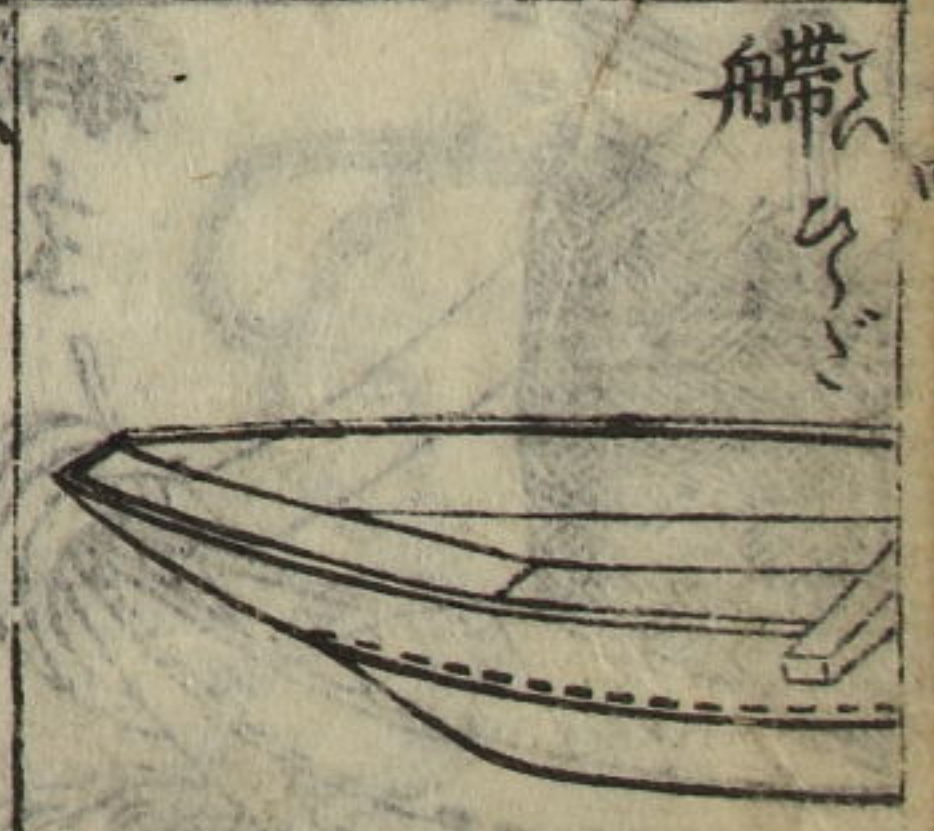
碇
碇のり

碇の船を鎮い
碇のり
碇のり
碇のり

輿
輿のいふ

輿のいふ輿の
輿のいふ輿の
輿のいふ輿の
輿のいふ輿の

船
船のいふ



碇
碇のり



輿
輿のいふ



兜
兜のいふ

兜のいふ兜
兜のいふ兜
兜のいふ兜
兜のいふ兜

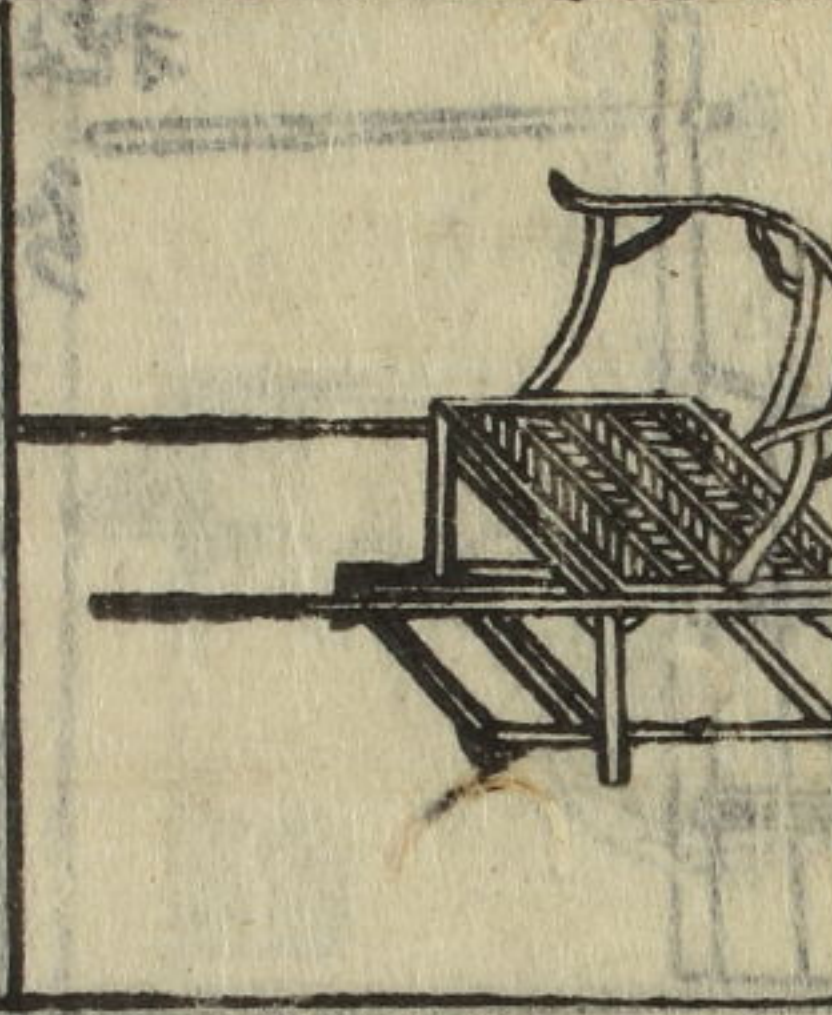
鞆
鞆のいふ

鞆のいふ鞆
鞆のいふ鞆
鞆のいふ鞆
鞆のいふ鞆

鞆
鞆のいふ

鞆のいふ鞆
鞆のいふ鞆
鞆のいふ鞆
鞆のいふ鞆

兜
兜のいふ



鞆
鞆のいふ



鞆
鞆のいふ



鐵把
鐵把のいふ

鐵把のいふ鐵把
鐵把のいふ鐵把
鐵把のいふ鐵把
鐵把のいふ鐵把

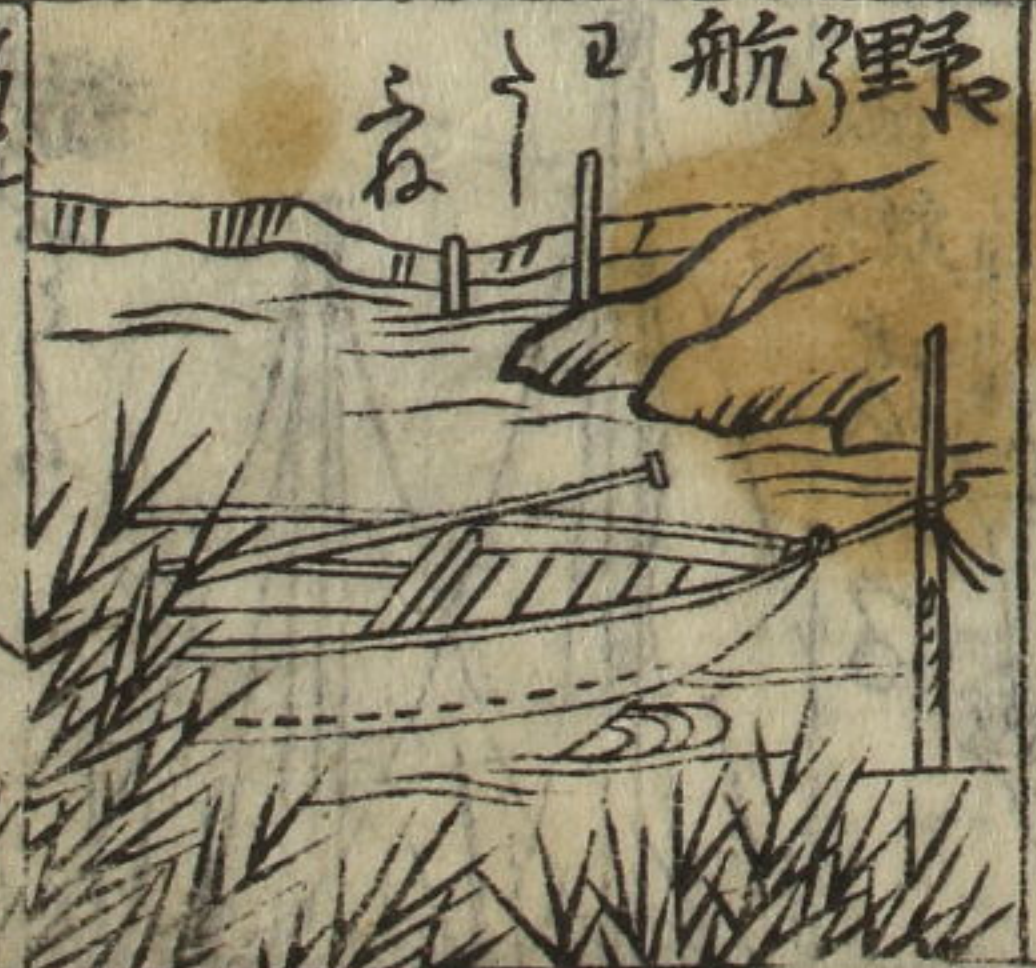
野航
野航のいふ

野航のいふ野航
野航のいふ野航
野航のいふ野航
野航のいふ野航

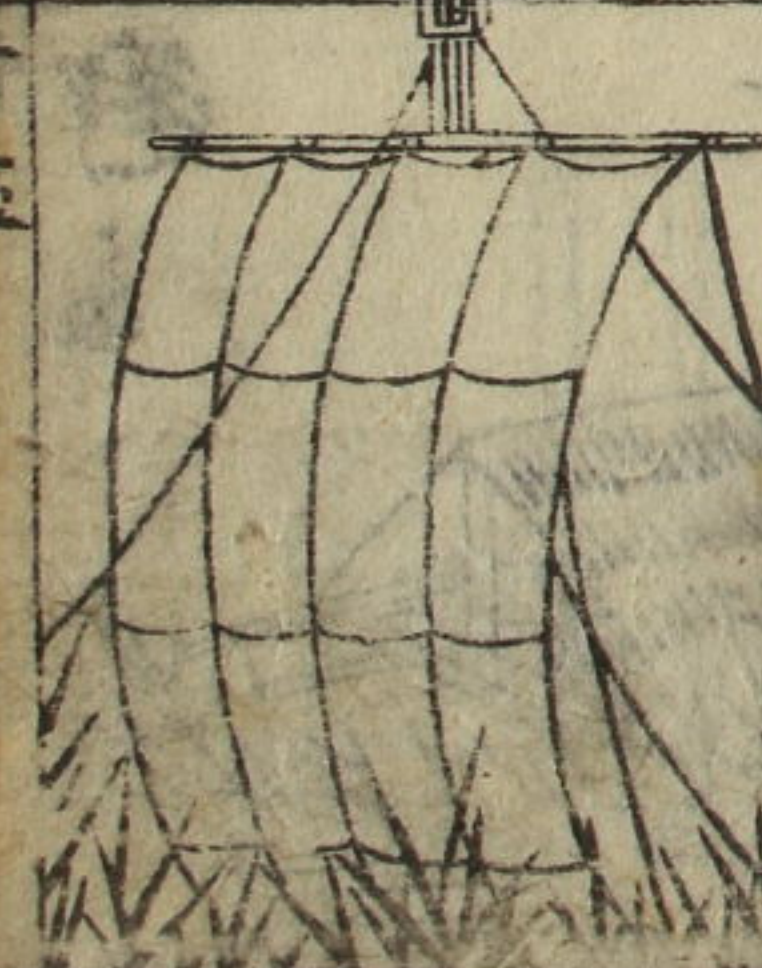
帆
帆のいふ

帆のいふ帆
帆のいふ帆
帆のいふ帆
帆のいふ帆

鐵把
鐵把のいふ



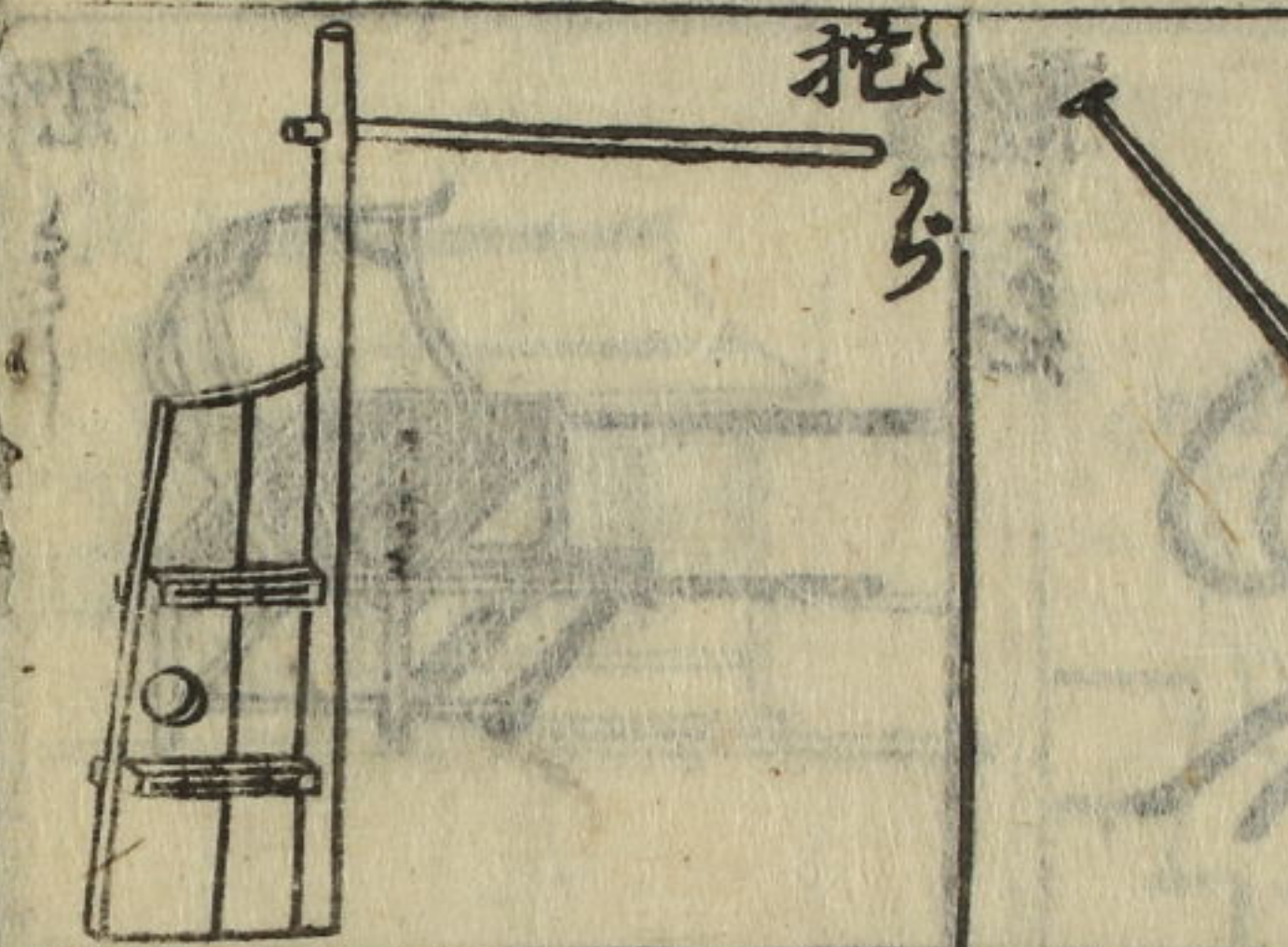
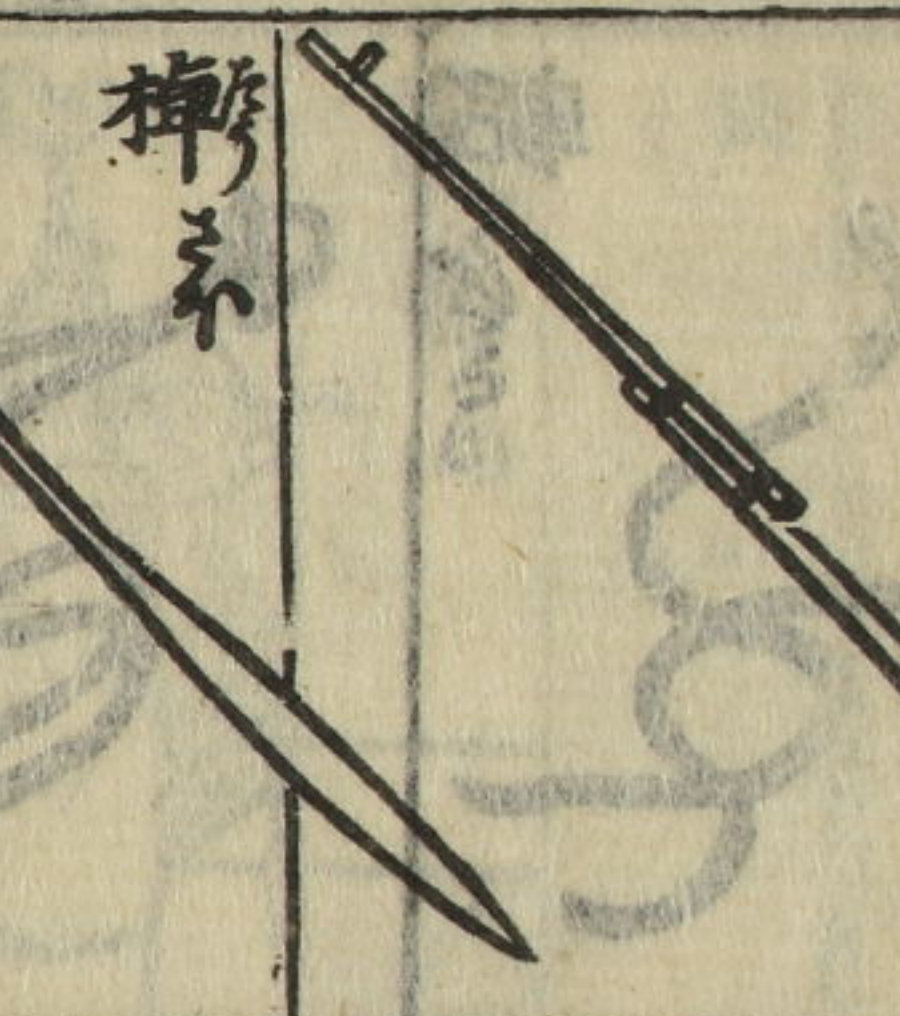
帆
帆のいふ



槽
○槽ハ縦形と
横ハ小横子用
と兼ハらふも
舟具多ク

櫂
○櫂ハ船と方お
り高同

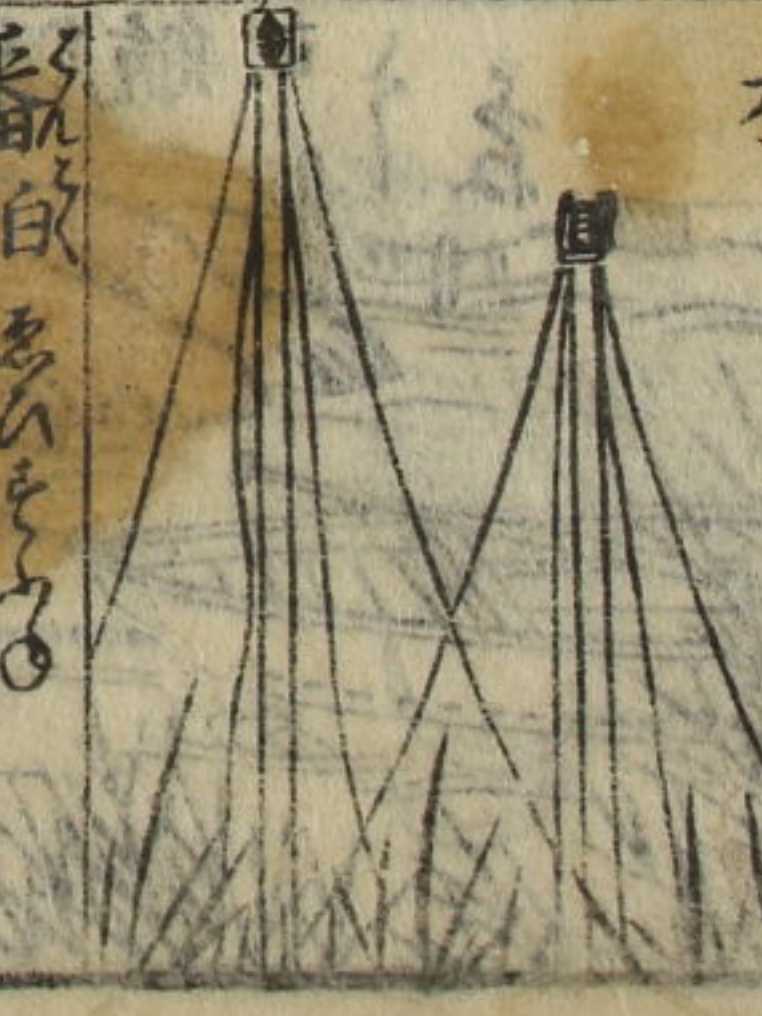
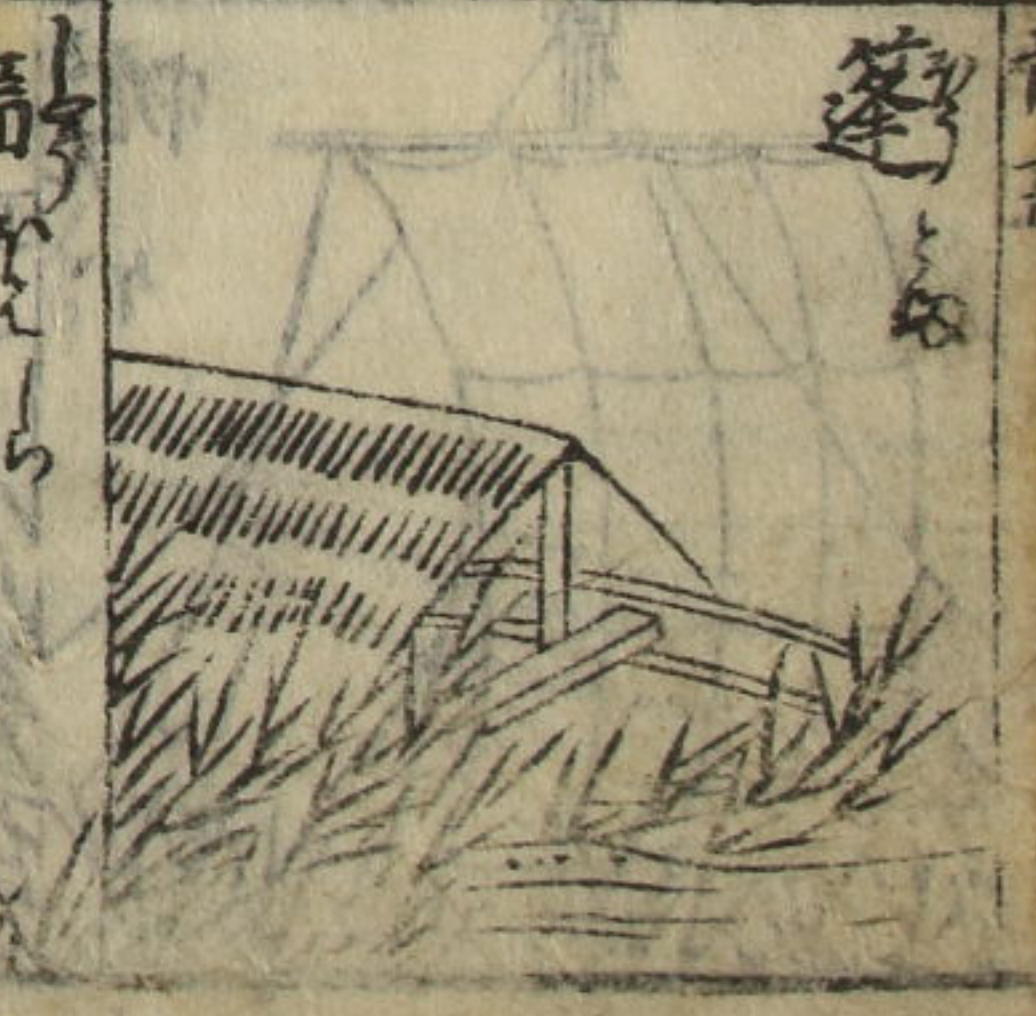
舵
○舵ハ船のうま
施舵同又權
をもさへ



篷
○篷ハ竹と鐵で
築と織り船と
かりかたのり

櫓
○櫓ハ船の
まに同からり

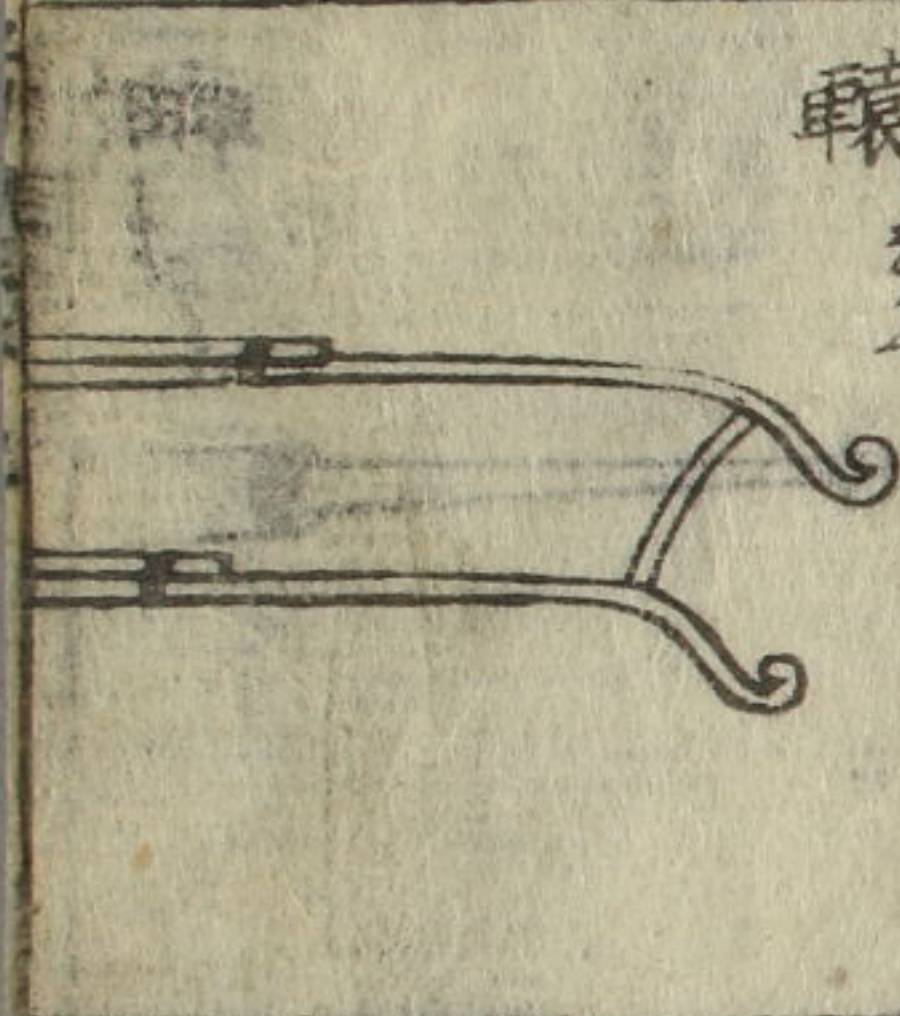
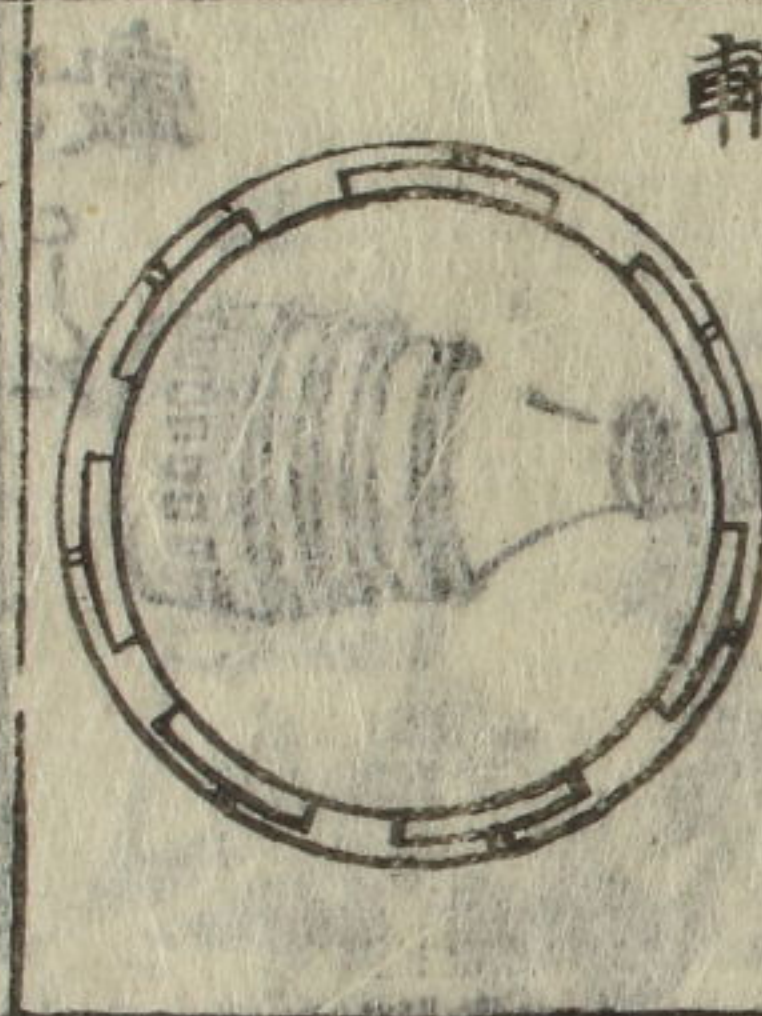
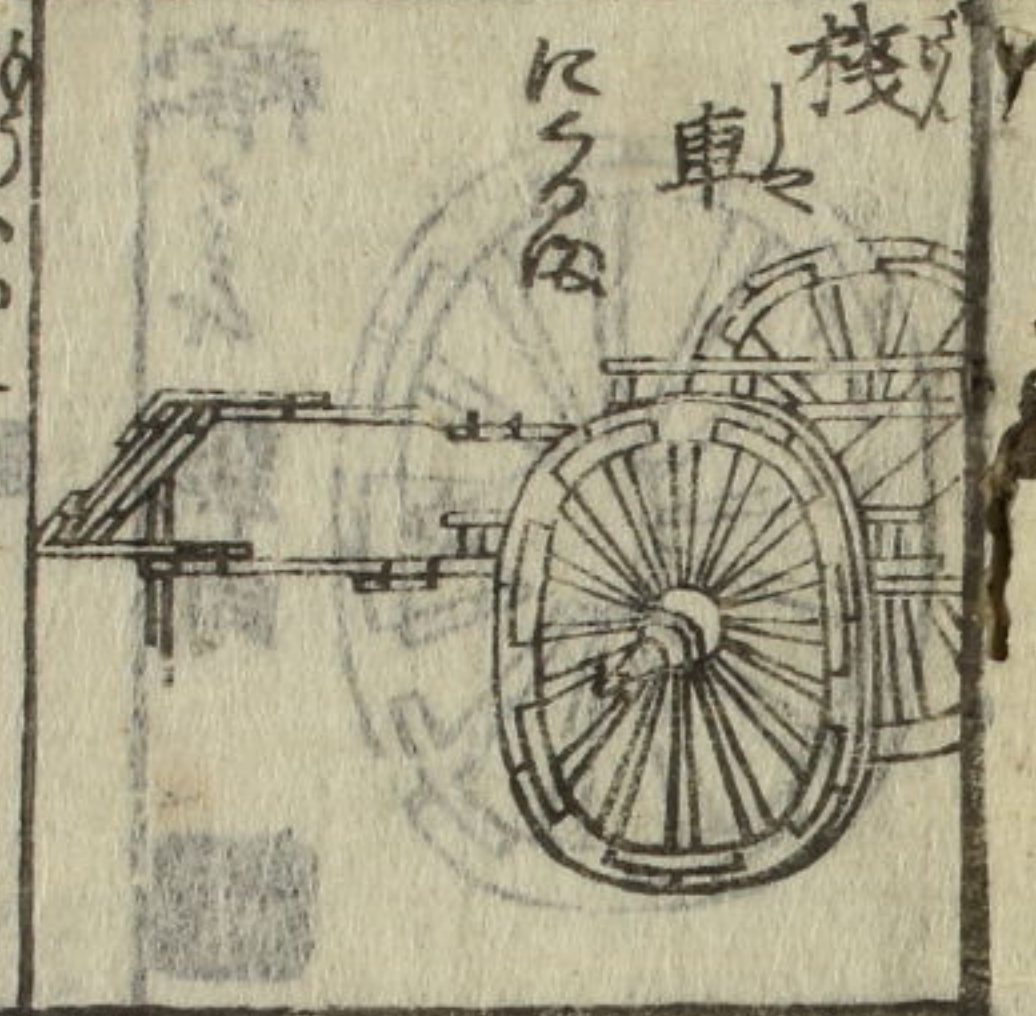
番船
○番船ハ船
多ク



機車
○機車ハ今
に車多ク後車
と車あり

輜
○輜ハ車
の輪の外
のわと見え
輪あり輜牙と

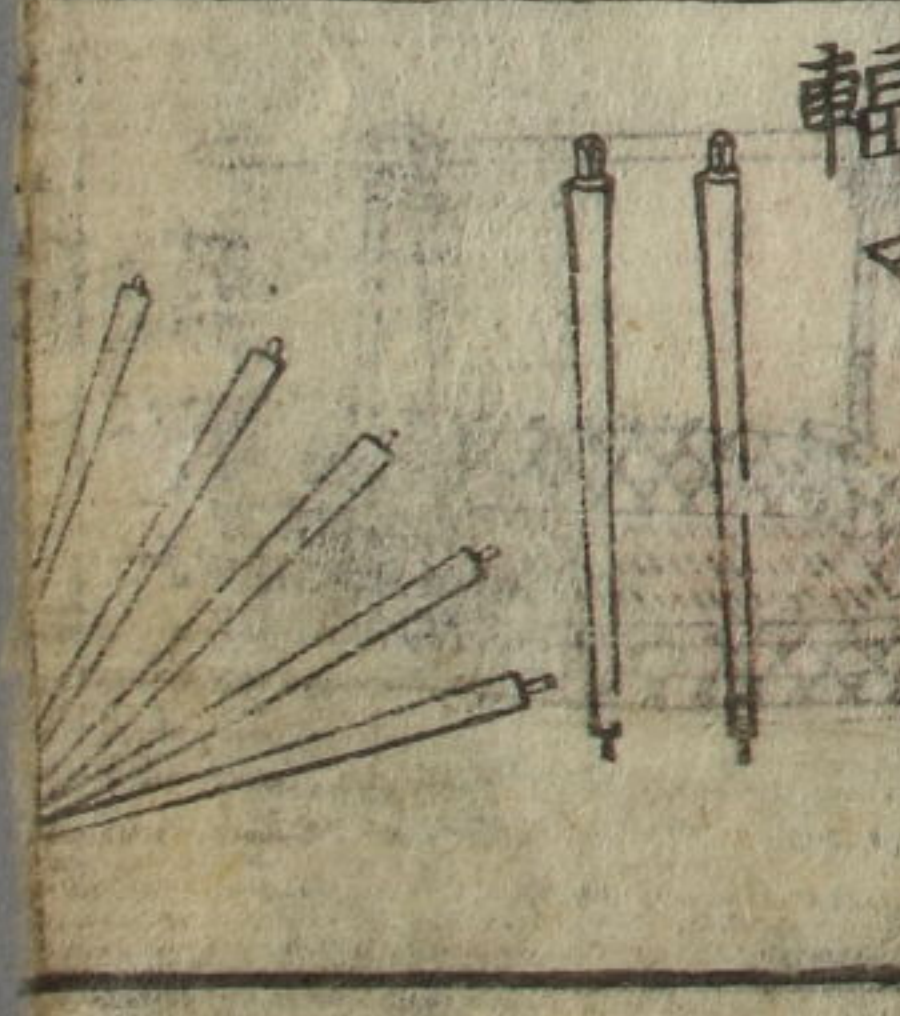
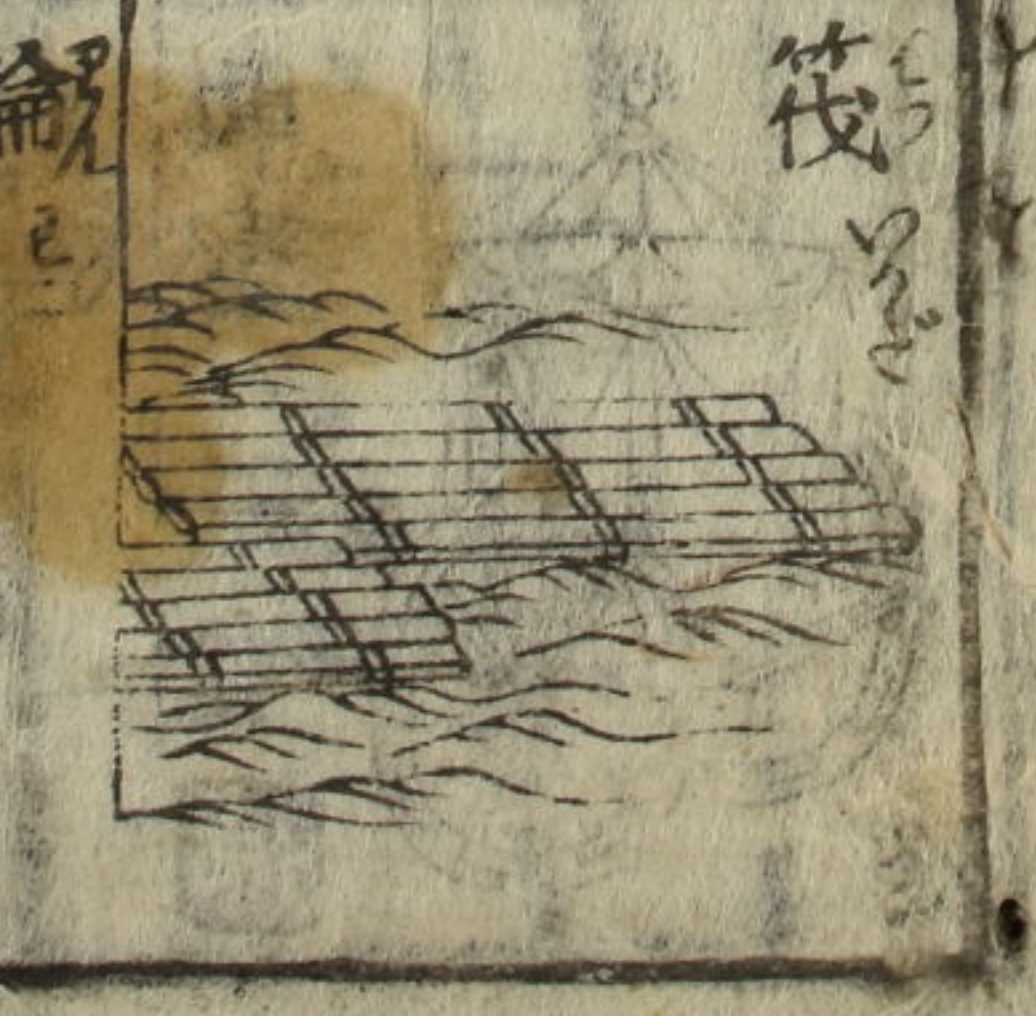
輾
○輾ハ車
のまの
曲りおと
輾同



筏
○筏ハ竹と
木とさへり
のり

輞
○輞ハ車
の輪の
聖人輞と
て輞とつる

輻
○輻ハ車
の三十
のおり



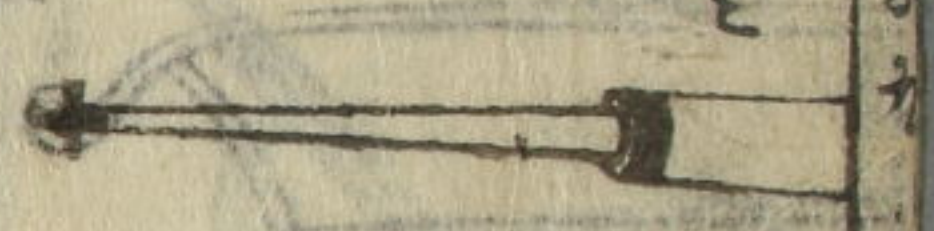
軸
まき
○軸の車の輪と
りつとあり
轄へくま

轂
こき

○轂の輻の漆水
轂の館との
軋るる

轄
まき
轄の車の輪と
ありつとあり
つらつら物と
つらつら物と
つらつら物と
つらつら物と

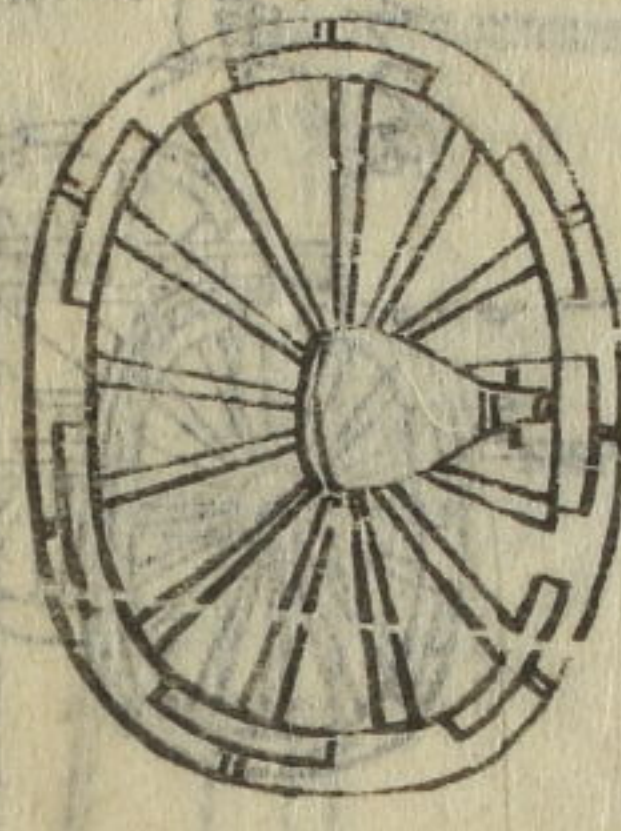
軸
まき



轂
こき

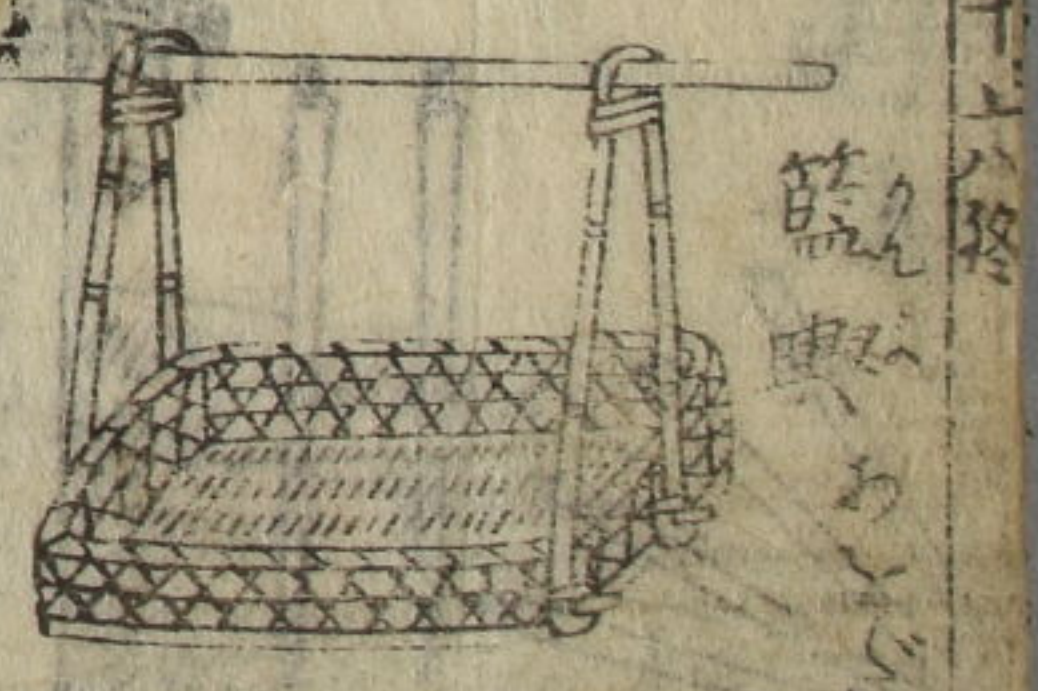


轄
まき



蓋
おほ

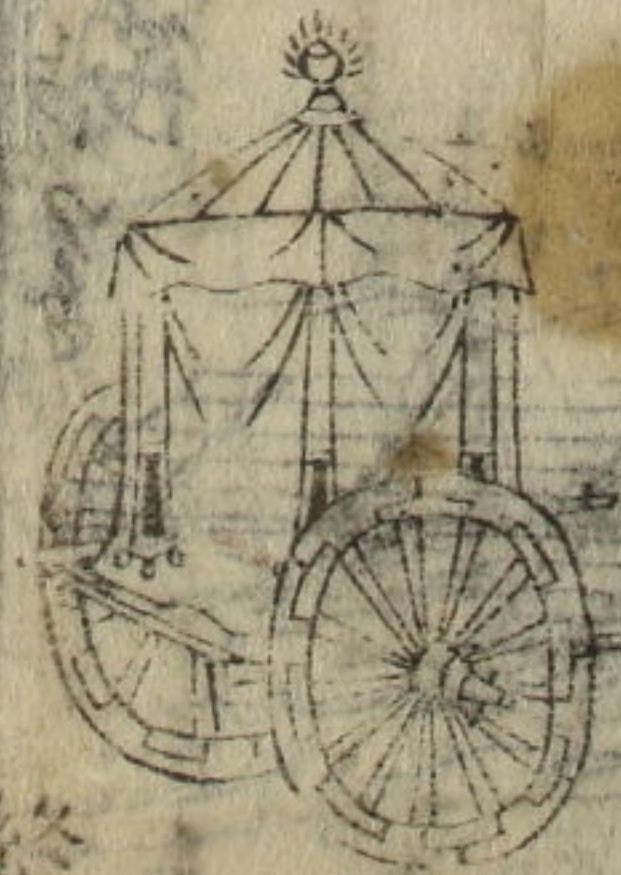
○蓋の分り
うんとあり
蓋の作真同



輓
まき



車蓋
おほ



輓
まき
輓の向のま
おろり

輓
まき
輓の向のま
おろり

大正十一年
油屋
大正十一年
油屋



